款	4	衛生費	予算現額	82,779,330 円
項	1	保健衛生費	決算額	81,293,136 円
目	1	保健衛生総務費	前年度決算額	86,114,435 円
			対前年比	94.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	保健衛生一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	01	02	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ　健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1　誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：－							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	町職員
2　働きかける相手(対象)	町職員・関係機関
3　どのような状態にしたいのか(意図)	関係機関と連携を図り、健康増進法、母子保健法、予防接種法等に基づく各種事業を円滑に実施します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

保健衛生一般管理事業

⑴　いきいき東郷21推進協議会

町民の健康づくりと食育推進計画を定めた「いきいき東郷21（第２次）」の進捗状況の報告及び今後の方針について話し合うため、会議を開催しました。

⑵　献血活動

町献血推進協議会に補助金を交付しました。（献血回数５回、献血者数175人）

⑶　研修や関係機関会議等への参加

ア	地域保健主幹課長研修等	４人
イ	感染症予防対策会議	９人
ウ	在宅医療介護連携推進会議	５人
エ	災害対策研修会	３人
オ	管内保健師研修会	２人
カ	市町村保健師協議会研修会	11人
キ	精神保健に関する研修会	２人
ク	特定保健指導研修会	８人
ケ	データヘルス研修会	10人
コ	健康増進・がん検診研修会	15人
サ	8020推進・歯科対策会議	４人
シ	母子保健関係研修会	16人
ス	虐待予防対策研修会・関係機関会議	４人
セ	発達障がい支援・療育研修会	３人
ソ	母子保健推進会議	10人
タ	新任期保健師研修会	12人
チ	市町村保健行政栄養士会等	11人
ツ	食育推進関係会議	９人
テ	東名古屋保健連絡協議会	５人
ト	救急医療関係会議	１人
ナ	休日急病診療所運営に関する会議	１人
ニ	いこまい館の管理に係る会議	36人
ヌ	その他の会議、研修会	14人
		延べ195人

5　活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	研修等に参加した延べ人数	平成 27 年度	122.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	158.00 人	人	
		平成 29 年度	198.00 人	人	
		平成 30 年度	195.00 人	人	

6　直接事業費計	前年度決算額	5,185,238 円	決算額	1,584,507 円

Ⅰ．事業の目的体系

1．事　業　名	医師会･歯科医師会関係事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	01	03	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ　健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：２ 安心して医療を受けられる体制をつくる							
	施策の展開方向：⑵ 地域医療の充実							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	町民
2　働きかける相手(対象)	医師会・歯科医師会
3　どのような状態にしたいのか(意図)	町と医師会及び歯科医師会との連携を図り、保健事業を円滑に実施します。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	医師会・歯科医師会関係事業 　町民の健康保持と保健衛生業務を円滑に運営することを目的として、東名古屋東郷町医師会及び愛豊歯科医師会東郷支部に対し、助成金を交付しました。 　また、医師及び歯科医師との連絡調整のため、医師連絡会及び歯科医師連絡会を開催しました。 ⑴　医師会（医師24人）　助成額　400,000円 　ア　講演会を２回開催しました。 　　演題「今知りたい聞こえと物忘れのこと」（平成31年２月16日実施） 　　参加人数　120人 　　演題「便通異常と病気の話」（平成31年３月２日実施） 　　参加人数　60人 　イ　医師連絡会　４回開催 ⑵　歯科医師会（歯科医師18人）　助成額　292,000円 　ア　文化産業まつりで歯科医師会コーナーを設置し、町民に対し歯周病チェック、噛み合わせチェックを行いました。 　　参加人数　325人 　イ　歯科医師連絡会　２回開催 　ウ　8020・8820運動表彰 　　8020表彰　63人 　　8820表彰　９人

5 活動指標			年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	医師・歯科医師連絡会の開催回数	平成 27 年度	回 6.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明(指標式)		平成 28 年度	回 6.00	回	
			平成 29 年度	回 6.00	回	
			平成 30 年度	回 6.00	回	

6　直接事業費計	前年度決算額	976,304　円	決　算　額	968,918　円

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	東郷診療所特別会計繰出金事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	01	04	－

2．総合計画の施策体系	基本目標：	目標Ⅰ　健康で元気に暮らせるまち
	基本施策：	2　安心して医療を受けられる体制をつくる
	施策の展開方向：	⑵　地域医療の充実

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	東郷診療所受診者
2　働きかける相手(対象)	東郷診療所特別会計
3　どのような状態にしたいのか(意図)	東郷診療所特別会計の健全な運営を確保し、診療所事業を円滑に運営します。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	東郷診療所特別会計繰出金事業 東郷診療所特別会計のうち、訪問看護事業に対する財源として、一般会計から2,316,000円を繰り出しました。

5 活動指標		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	一般会計繰出金額	平成 27 年度	円 9,693,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	円 1,994,000.00	円	
		平成 29 年度	円 2,316,000.00	円	
		平成 30 年度	円 2,316,000.00	円	

6　直接事業費計	前年度決算額	2,316,000　円	決算額	2,316,000　円

款	4	衛生費	予　算　現　額	172,491,000 円
項	1	保健衛生費	決　算　額	166,248,541 円
目	2	予防費	前年度決算額	167,246,609 円
			対　前　年　比	99.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	感染症まん延防止事業	ｺｰﾄﾞ 01 04 01 02 01 －
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ　健康で元気に暮らせるまち	
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する	
	施策の展開方向：⑷ 感染症予防の推進	

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	予防接種法及び感染症法上の対象者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延の予防が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　感染症予防事業
⑴　感染予防対策として、インフルエンザ警報発令及び予防の周知に加え、高病原性鳥インフルエンザやジカ熱の感染予防の周知活動を行いました。
⑵　集中豪雨（５月13日）の水害による床上浸水の被害が１件あり、助言指導及び消毒を実施しました。
⑶　新型インフルエンザの発生を想定した患者移送及び消毒訓練を行いました。（研修11月22日、訓練11月29日）
⑷　11月13日に愛知県の訓練に合わせて東郷町新型インフルエンザ等情報伝達訓練を実施しました。
2　定期予防接種事業（法律に基づいたワクチン接種）
⑴　不活化ポリオ　３人
⑵　ＢＣＧ　396人
⑶　四種混合　1,593人
⑷　二種混合　406人
⑸　麻しん風しん　809人（１期　352人　２期 458人）
⑹　日本脳炎　1,974人
⑺　Ｈｉｂ感染症　1,566人
⑻　小児用肺炎球菌　1,562人
⑼　子宮頸がん　３人
⑽　水痘（水ぼうそう）　692人
⑾　Ｂ型肝炎　1,151人
⑿　インフルエンザ　5,059人
⒀　高齢者肺炎球菌　923人　　計16,137人（内乳幼児児童広域化1,262件　高齢者広域化204件）
3　任意予防接種事業
風しん対策事業として、妊娠を希望する女性（経産婦を含む）で風しんの抗体のない人に風しんワクチン接種費用の半額助成を実施しました。　助成人数　　37人

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	予防接種延べ人数	平成 27 年度	14,565.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	予防接種、任意予防接種の延べ人数	平成 28 年度	15,518.00 人	人	
			平成 29 年度	15,363.00 人	人	
			平成 30 年度	16,137.00 人	人	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	麻しん風しん１期接種率	平成 27 年度	93.40 %	100.00 %	接種率100%を目標とします。
	指標の説明（指標式）	352（麻しん風しん１期接種者）÷368（対象者）×100	平成 28 年度	98.30 %	100.00 %	
			平成 29 年度	94.10 %	100.00 %	
			平成 30 年度	95.65 %	100.00 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	112,720,594 円	決算額	118,755,938 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	成人保健健康診査事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：⑶ 予防対策の充実及び長寿社会に対応した保健体制の確立							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	健康診査等受診者
2 働きかける相手(対象)	健康診査等を職場などで受ける機会のない人、医療機関
3 どのような状態にしたいのか(意図)	検診及び健康診査に対する受診意識の向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成人保健健康診査事業
　各種がん検診、女性特有のがん検診推進事業、肝炎ウィルス検診、結核検診、歯周病検診、骨粗しょう症検診及び20～39歳の方のための健診を行いました。
　また、保健事業年間スケジュールを作成し、保健事業の啓発を行うとともに、平成29年度の保健活動のまとめと評価を行い「東郷の保健活動」を作成しました。

⑴ 各種がん検診
　ア 胃がん　40歳以上 1,442人
　イ 大腸がん　40歳以上 2,481人
　ウ 子宮頸がん　20歳以上 893人
　　（妊婦健診と同時に実施した分は母子健康診査事業に記載あり。）
　エ 乳がん　40歳以上 791人
　オ 肺がん　40歳以上 1,531人
　カ 前立腺がん　50歳以上 1,141人

⑵ 女性特有のがん検診推進事業
　※実績数値は⑴の各種がん検診の数字に含まれます。
　ア 子宮頸がん　20歳 ９人（対象者264人）
　イ 乳がん　40歳 28人（対象者292人）

⑶ 肝炎ウイルス検診　109人
⑷ 歯周病検診　30・35・40・45・50・55・60・65・70・75・80歳　256人
⑸ 骨粗しょう症検診　213人
⑹ 20～39歳の方のための健診　216人
⑺ 結核検診　65歳以上　2,923人（肺がん検診としての実施分は除く。）
⑻ 8020運動表彰　63人
⑼ 8820運動表彰　９人

5 活動指標

指標名	がん検診受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標の説明(指標式)	胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん受診者数	平成 27 年度	8,810.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
		平成 28 年度	8,535.00 人	人	
		平成 29 年度	8,974.00 人	人	
		平成 30 年度	7,915.00 人	人	

6 成果指標

指標名	胃がん検診受診率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標の説明(指標式)	40歳以上の胃がん検診受診率	平成 27 年度	15.80 %	16.10 %	前年度の愛知県内の平均値を目標値とする。
		平成 28 年度	14.10 %	16.00 %	
		平成 29 年度	14.70 %	16.00 %	
		平成 30 年度	13.70 %	16.00 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	45,815,276 円	決算額	42,684,722 円

Ⅰ．事業の目的体系

1　事業名	成人保健健康教育事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	03	－
2　総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ　健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：1　誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：⑴　一次予防の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1　誰のために(受益者)	町民
2　働きかける相手(対象)	健康講座等で健康教育を受ける人等、町民（40歳から64歳までの町民）
3　どのような状態にしたいのか(意図)	健康的な生活を送ることができるよう健康に関する意識を高め、正しい知識を持って健康づくりに取り組むことができるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成人保健健康教育事業
　男性のための料理入門、文化産業まつり健康コーナーを実施しました。
⑴　男性のための料理・ウォーキング入門
　　60歳以上の料理初心者の男性を対象に、料理のいろはと正しい歩き方について指導しました。
　　１コース（６回）延60人（実人数12人）
⑵　文化産業まつり健康コーナー
　　町民を対象に、健康に対する意識の向上を図るために実施しました。
　　１回　569人
⑶　健康講演会（きらめきエクササイズ）
　　町民を対象に、健康づくりに取り組むきっかけの場として、体操指導や栄養指導を実施しました。
　　６回　100人
⑷　とうごう体操普及推進講習会
　　とうごう体操を普及推進するため、健康づくりリーダーを始めとするボランティア団体、自治会、老人クラブ、保育園・幼稚園、児童館等を対象に講習会を実施しました。
　　また、納涼まつりでとうごう体操を実演し、まつり来場者への普及推進に努めました。
　　37回　2,049人（納涼まつり等のイベント時を除く。）
⑸　ヘルスプロモーション推進事業「あいち健康マイレージ事業」
　　愛知県と東郷町の協働事業として６月１日から開始しました。日ごろから主体的に健康づくりに取り組むことができる環境の整備や動機付けを行いました。
　　「まいか」取得者（100ポイント達成者）　110人
⑹　とうごう体操推進ボランティア養成講座（とうごう体操健康講座）
　　12回　156人（内５人が、とうごう体操推進ボランティアとして認定されました。）

⑴～⑹合計　62回　3,044人

5　活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	成人保健健康教育の実施回数	平成27年度	44.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明(指標式)	地区の健康講座（健康づくり地区活動支援事業）を除く成人保健健康教育の実施回数	平成28年度	41.00 回	回	
		平成29年度	81.00 回	回	
		平成30年度	62.00 回	回	

6　成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	成人保健健康教育の参加者数	平成27年度	1,872.00 人	2,442.00 人	前年度実績
指標の説明(指標式)	地区の健康講座（健康づくり地区活動支援事業）を除く成人保健健康教育の参加者数	平成28年度	1,612.00 人	1,872.00 人	
		平成29年度	3,253.00 人	1,612.00 人	
		平成30年度	3,044.00 人	3,253.00 人	

7　直接事業費計	前年度決算額	1,103,127 円	決算額	1,034,160 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	成人保健相談･訪問指導事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	04	－
2 総合計画の施策体系	基本目標： 目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策： 1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向： ⑴ 一次予防の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	相談（訪問）が必要な人
3 どのような状態にしたいのか(意図)	相談者が心身の健康に関する相談、指導及び助言を受けることができ、家庭における健康管理が促進されるようにします。また、心身機能の低下の防止と健康の保持増進が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成人保健相談・訪問指導事業
⑴ 健康相談 2,781人
ア 20～39歳の方のための健診結果説明･相談会 188人
（内、重点健康相談を受けた人数 89人）
イ みんなの栄養相談（毎週月～金曜日、ただし祝日は除く。） ６人
内容 栄養相談、食生活に関する相談、離乳食の相談など
ウ からだ・こころの健康相談（毎週月曜日、ただし祝日は除く。） 11人
内容 からだやこころに関する相談
エ 文化産業まつり健康コーナー 2,576人
歯科医師コーナー 内容：噛み合わせチェック
瀬戸保健所コーナー 内容：肌年齢チェック、たばこクイズ
薬剤師コーナー 内容：薬分包体験、くすり相談
保健師コーナー 内容：いきいき東郷21（第２次）クイズ
栄養士コーナー 内容：栄養相談
健康づくりリーダー 内容：とうごう体操
食生活改善推進員コーナー 内容：健康おやつのレシピ（豆腐入り米粉蒸しパン）紹介
体験コーナー 内容：骨密度、ヘモグロビン測定等
藤田保健衛生大学コーナー 内容：人体モデルの心臓や肺の音を聞こう、健康相談
⑵ 成人訪問指導
精神障害者への訪問指導 １人
⑶ 「こころの体温計」
内容：携帯電話やパソコンを利用して、ストレス度や落ち込み度が分かるメンタルチェックシステム
アクセス数 町内 6,481件、町外 3,043件

5 活動指標

指標名	20～39歳の方のための健診結果説明・相談を受けた人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	251.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	292.00 人	人	
		平成 29 年度	304.00 人	人	
		平成 30 年度	188.00 人	人	

6 成果指標

指標名	20～39歳の方のための健診後説明・相談にて、重点健康相談を受けた人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成 27 年度	90.00 人	82.00 人	前年度の実績値
指標の説明（指標式）	重点とは、高血圧・高脂血症・糖尿病・歯周疾患・骨粗しょう症・肥満等についての相談・指導のことをいいます。	平成 28 年度	148.00 人	90.00 人	
		平成 29 年度	192.00 人	148.00 人	
		平成 30 年度	89.00 人	192.00 人	

7 直接事業費計	前年度決算額 795,015 円	決算額	334,788 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	健康づくり地区活動支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	05	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち						
	基本施策：1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する						
	施策の展開方向：⑵ 地域ぐるみの健康づくりの推進						

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	地区における健康づくり活動に関心がある人・関係機関
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、生涯を通じた健康づくりを主体的に地域で取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

健康づくり地区活動支援事業
健康づくり地区活動支援（児童館、自治会、老人クラブ等からの依頼による健康に関する講座の実施や活動の支援）を実施しました。
健康づくりリーダーや食生活改善推進員が町民を対象に実施する活動への支援を行いました。
３年に１度開催している食生活改善推進員養成講座を実施し、新たに５人が推進員になりました。
食生活改善推進員協議会全国大会が愛知県で開催され、町職員も準備から参加しました。

⑴ 健康づくり地区活動支援（地区の健康講座）	41回	1,176人
ア 子育てサークル（児童館）	12回	234人
イ 保育園、子育て支援センター	5回	86人
ウ 自治会、老人クラブ等	18回	685人
エ 親と子の生活習慣病予防教室	６回	171人（84組）
⑵ ランチルーム活用事業	７回	200人
ア 料理教室	５回	97人
イ 調理体感	２回	103人（50組）
⑶ 健康づくり活動支援	40回	606人
ア 健康づくりリーダー活動支援（健康体操教室）	12回	360人
イ 食生活改善推進員活動支援（定例会、研修会、勉強会）	19回	207人
ウ 食生活改善推進員養成講座	９回	39人

5 活動指標

指標名	健康づくり地区活動支援の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成27年度	回 23.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成28年度	回 30.00	回	
		平成29年度	回 40.00	回	
		平成30年度	回 41.00	回	

6 成果指標

指標名	健康づくり地区活動支援の参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成27年度	人 446.00	人 556.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		平成28年度	人 764.00	人 446.00	
		平成29年度	人 840.00	人 764.00	
		平成30年度	人 1,176.00	人 840.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	329,596 円	決算額	317,923 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	救急医療対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	06	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：2 安心して医療を受けられる体制をつくる							
	施策の展開方向：⑴ 救急医療体制の充実							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	救急医療を必要とする人
2 働きかける相手(対象)	休日急病診療所、救急病院
3 どのような状態にしたいのか(意図)	早急に医療行為が必要な人が、安心して治療ができるよう医療機関が確保され、その体制が維持できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

救急医療対策事業

愛知県の救急医療体制が構築されているなか、尾張東部医療圏に属する本町は、第１次救急医療施設の休日急病診療所と第２次救急医療施設の尾張東部地域救急医療対策連絡協議会（５市１町）の救急病院に運営費を支出しました。

⑴ 第１次救急医療施設　日進市休日急病診療所（日進市）

平成30年度休日急病診療所利用状況

①東郷町　610人　15.2%
②日進市　2,212人　55.1%
③長久手市　886人　22.0%
④その他　309人　7.7%
計　4,017人

⑵ 第２次救急医療施設　日進おりど病院（日進市）、旭労災病院（尾張旭市）

日進おりど病院と旭労災病院が指定病院です。また、陶生病院が、第３次救急医療施設（第２次救急医療機関の後方病院として脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷その他特殊診療部門（熱傷、小児、中毒等）における重篤救急患者の救命医療を担当する。）に指定されています。

※第１次救急医療施設とは、救急医療体制下において、傷病の初期及び急性期症状の医療を担当し、第２次救急医療施設への選別機能を持つ医療機関をいう。
※第２次救急医療施設とは、第１次救急医療施設の後方病院として、入院又は緊急手術を要する救急患者の医療を担当する医療機関をいう。

5 活動指標			年度	実績値		個別計画、指針等による目標値
	指標名	日進市休日急病診療所（東名古屋医師会運営）受診者数	平成 27 年度	3,533.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	3,795.00 人	人	
			平成 29 年度	3,883.00 人	人	
			平成 30 年度	4,017.00 人	人	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	日進市休日急病診療所（東名古屋医師会運営）を受診した東郷町民の数	平成 27 年度	594.00 人	563.00 人	過去３年間の実績値の平均
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	582.00 人	575.00 人	
			平成 29 年度	650.00 人	585.00 人	
			平成 30 年度	610.00 人	608.00 人	

7 直接事業費計	前年度決算額	6,483,001 円	決算額	3,121,010 円

款	4	衛生費	予　算　現　額	62,178,670 円
項	1	保健衛生費	決　算　額	59,175,329 円
目	3	母子保健費	前年度決算額	52,106,242 円
			対　前　年　比	113.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事　業　名	母子保健健康診査事業	ｺｰﾄﾞ 01	04	01	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅰ　健康で元気に暮らせるまち						
	基本施策：１ 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する						
	施策の展開方向: ⑴ 一次予防の推進						

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2 働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	妊婦・乳幼児が健康診査並びに保健指導を受けることができ、健康保持、育児上の不安解消及び母子の疾病予防が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

母子保健健康診査事業

⑴　健康診査の状況

妊産婦及び乳幼児を対象とした健診（妊婦健診（14回）、産婦健診、乳児健診（２回）、妊産婦歯科健診、４か月児健診、１歳６か月児健診、２歳児歯科健診、３歳児健診）を実施しました。

ア　妊婦健診　一般　4,934人、子宮頸がん　342人　（内県外・助産所受診　延べ206人）
イ　産婦健診　391人（内県外受診　延べ27人）
ウ　乳児健診（県外受診含む。）　621人（内県外受診　延べ29人）
エ　妊産婦歯科健診　119人　※平成27年度から町指定歯科医院にて個別健診に変更。
オ　４か月児健診　393人（対象者395人、受診率99.5%、要精密検査４人）
カ　１歳６か月児健診　368人（対象者382人、受診率96.3%、要精密検査９人）
キ　２歳児歯科健診　373人（対象者382人、受診率91.9%、要精密検査１人）
ク　３歳児健診　429人（対象者440人、受診率97.5%、要精密検査45人）

⑵　むし歯予防の取り組み

１歳６か月児健診で集団指導、２歳児歯科健診で個別ブラッシング指導、両方の健診で希望者にフッ素塗布を行いました。

ア　１歳６か月児健診のフッ素塗布者数　226人
イ　２歳児歯科健診のフッ素塗布者数　192人

⑶　健診未受診者対策

受診のない児については、電話で受診勧奨し、受診できない児については家庭訪問や面接、入園状況の確認等で児の所在及び発達確認を行いました。所在の確認ができない児については、こども課に所在不明児童調査の依頼をしました。

ア　所在不明児童調査依頼　５件
イ　所在不明児童調査結果　海外への出国を確認　５件

⑷　健診での他機関との協働

ア　２歳児歯科健診では、ブックスタートの取り組みとして、図書館職員と読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、親子で絵本に触れ合う機会となりました。
イ　３歳児健診では、待ち時間に折り紙ボランティアによる工作を実施し、遊びを通じて親が子へ関わる機会を設けました。
ウ　３歳児健診では町立保育園保育士が同席し、就園に向けた支援のため児の発達等の情報共有を行いました。

5 活動指標

		年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	健診受診者数	平成 27 年度	7,734.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	妊婦健診、産婦健診、乳児健診、妊産婦歯科健診、４か月児健診、１歳６か月児健診、２歳児歯科健診、３歳児健診の合計受診者数	平成 28 年度	7,668.00 人	人	
		平成 29 年度	7,320.00 人	人	
		平成 30 年度	7,970.00 人	人	

6 成果指標

		年　度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	１歳６か月児健診受診率	平成 27 年度	96.90 %	100.00 %	いきいき東郷21計画の目標値100%を目標とした。
指標の説明（指標式）	健診受診者÷健診対象者×100	平成 28 年度	99.10 %	100.00 %	
		平成 29 年度	99.00 %	100.00 %	
		平成 30 年度	96.33 %	100.00 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	46,693,915 円	決　算　額	51,857,782 円

Ⅰ．事業の目的体系

1　事業名	母子保健教育事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	02	－
2　総合計画の施策体系	基本目標：　目標Ⅰ　健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策：　1　誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向：　(1)　一次予防の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1　誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2　働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3　どのような状態にしたいのか(意図)	子育てクラブ、離乳食教室、パパママ教室等の保健教育について、乳幼児及び保護者の健康が保持され、子育てに関する正しい知識の習得や仲間づくりの機会を設けます。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

母子保健教育事業
健康づくりセンターを拠点に下記の教室を実施しました。
(1)　子育てクラブ
ア　内容　赤ちゃん体操や離乳食の講話を行い、参加者同士の仲間づくりの支援を行いました。
イ　実施回数　６回
ウ　実績　３～６か月児　実人数70人（延べ人数71人）
(2)　離乳食教室
ア　内容　離乳食の調理と講演を行い、離乳食の基本の習得を目的に行い、参加者が安全に調理できるよう別室で有償ボランティアによる乳児の託児を行いました。
イ　講師　管理栄養士　保健師
ウ　実施回数　初期６回、中～後期６回
エ　実績　参加者数　初期（３～６か月児の親）87人（そのうち、託児利用者　59人）、中～後期（７～10か月児の親）54人（そのうち、託児利用者　42人）
(3)　パパママ教室
ア　内容　妊娠、出産、子育てに関する講話や父親の育児参加意識を高めるために、妊婦体験や沐浴体験を実施しました。夫婦で参加しやすいよう土曜日や日曜日に開催しました。
イ　講師　保健師　助産師　管理栄養士
ウ　実施回数　12回
エ　実績　母親延べ参加者数　97人　父親延べ参加者数　92人　参加実組数　99組
(4)　なかよし教室
ア　内容　ことばの遅れ等のある児童と保護者に、遊びを通した子どもとの関わり方の相談を実施しました。子どもの発達状況を父親が理解する機会として父親参観日を日曜日に年３回開催しました。
イ　講師　臨床心理士　ミュージックケアトレーナー等
ウ　実施回数　24回
エ　実績　実人数（児）64人、延べ人数（児）216人　父参加　延べ24人
(5)　双子交流会
ア　双子を育児している保護者の交流のため、実施しました。双子を妊娠した妊婦にも教室の案内をし、妊娠期からの参加を促しました。
イ　実施回数　６回
ウ　実績　実13組　延べ17組　妊婦参加　実人数０人

5　活動指標

項目	内容	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	なかよし教室参加人数（実人数）	平成 27 年度	90.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	91.00 人	人	
		平成 29 年度	87.00 人	人	
		平成 30 年度	64.00 人	人	

6　成果指標

項目	内容	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	１歳６か月児健診時、親・家庭の要因で継続支援等が必要と判断されなかった人の割合	平成 27 年度	97.80 %	100.00 %	１歳６か月児健診において「親・家庭の要因で継続支援等が必要」と判断された人がいないことを目標とします。
指標の説明（指標式）	１歳６か月児健診時、親・家庭の要因で継続支援等が必要と判断されなかった人÷１歳６か月児健診受診者×100	平成 28 年度	95.50 %	100.00 %	
		平成 29 年度	94.60 %	100.00 %	
		平成 30 年度	94.59 %	100.00 %	

7　直接事業費計	前年度決算額	1,255,326 円	決算額	1,144,855 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	母子保健相談･訪問指導事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	03	－
2 総合計画の施策体系	基本目標： 目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策： 1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向： ⑴ 一次予防の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2 働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	適切な保健指導・育児相談が受けられるようにし、妊産婦・乳幼児の健康が保持され、育児上の不安が解消されるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 母子健康包括支援センター 平成30年４月から健康課事務所内に「母子健康包括支援センター」を開設しました。 ⑴ 母子健康手帳交付時の面接 368人 ⑵ 要支援妊婦の把握及び支援カンファレンス 12回 ⑶ 支援プラン作成数 16件 2 母子保健相談 健康づくりセンターにおいて下記の相談を実施しました。 ⑴ 赤ちゃん相談・離乳食相談（１歳未満児対象）、育児相談・栄養相談（就学前児童対象） ア 内容 保健師・管理栄養士による育児相談を実施しました。 イ 実施回数 赤ちゃん相談・離乳食相談 11回 育児相談・栄養相談 24回 ウ 実績 乳児（実人数 161人、延べ人数 338人）幼児（実人数 43人、延べ人数 180人）栄養相談 153人 ⑵ お誕生日相談 ア 内容 １歳の誕生日を迎えた児の成長を保護者と確認し、保健指導・相談を実施しました。児童館の職員による手遊びや絵本の読み聞かせを実施し、児童館等の紹介をしました。 イ 実施回数及び実績 12回 275人（実人数） ⑶ ことばの相談 ア 内容 臨床心理士によることばの発達相談を実施し、保健指導を実施しました。 イ 実施回数及び実績 17回 33人（実人数） 2 訪問指導事業 赤ちゃん訪問（未熟児を含む）を始めとする訪問指導を実施しました。 ⑴ 妊婦訪問 延べ 12人（実人数５人） ⑵ 赤ちゃん訪問 399人（他市町に依頼４人） ⑵ 産婦訪問 延べ408人（実件数395人） ⑶ 乳児・幼児訪問 延べ 84人（実件数46人） ⑷ 歯科衛生士訪問 ６件 ⑸ 母子栄養強化事業 １件 ⑹ 産後ケア訪問 ４件（実人数２人） ※平成29年度から、生後５か月未満の家庭に助産師が訪問し、産後の母子の心身のケア等を行いました。

			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
5 活動指標	指標名	赤ちゃん相談・育児相談・お誕生日相談来所者数（栄養相談は除く）	平成 27 年度	人 879.00	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	人 926.00	人	
			平成 29 年度	人 958.00	人	
			平成 30 年度	人 793.00	人	

			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
6 成果指標	指標名	新生児家庭訪問実施率	平成 27 年度	% 98.20	% 100.00	前年度実績の10%増 ただし、平成25年度からは100%
	指標の説明（指標式）	委託助産師・町保健師・保健所保健師による訪問者率	平成 28 年度	% 98.20	% 100.00	
			平成 29 年度	% 98.90	% 100.00	
			平成 30 年度	% 99.20	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,572,905 円	決算額	4,672,827 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	発達障がい早期総合支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	04	－
2 総合計画の施策体系	基本目標： 目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策： 1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向： ⑴ 一次予防の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
2 働きかける相手(対象)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
3 どのような状態にしたいのか(意図)	発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する正しい支援方法を、保護者や支援者が理解し、発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童が生活しやすい環境を整えます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　発達検査、発達相談
⑴　４歳児発達相談
ア　内容　臨床心理士による発達検査を実施し、保健指導を実施しました。
イ　実施状況　実施回数６回、実人数11人
⑵　５歳児発達相談
ア　内容　臨床心理士による発達検査を実施し、必要な児童には、就学に関する保健指導を実施しました。
イ　実施状況　実施回数４回、実人数６人

2　早期総合支援体制
⑴　すくすく発達相談（５歳児スクリーニング）事業
発達障がいの早期発見と、保護者及び保育士に対し支援方法の指導を実施するため、町内保育園・幼稚園（全園計９園）を巡回し、保護者アンケート等を参考に、発達障がいの特徴のある児童への園での対応について助言等を行いました。また、必要な園児には後日発達検査、発達相談を実施しました。
町内保育園・幼稚園で実施　284件　発達検査、発達相談の実施　38件
⑵　小学校等巡回相談
発達障がい傾向にある児童の支援方法を現場支援者（教員等）と検討しました。
実施状況　町内小学校　９回（相談児童13件）、町内中学校　４回（相談生徒４件）
⑶　発達障がい早期総合支援連絡協議会
発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する支援体制の充実を図るため、協議会委員と協議しました。２月28日実施
⑷　発達障がい早期総合支援研修会
発達障がい傾向のある児童や生徒にかかわる職員（保育士、小中学校の介助員、放課後子ども教室担当者、相談員、保健師等）に対し研修を実施しました。
１回目：グループワーク「事例を共有し支援方法を検討しよう」参加者24人
２回目：講演会「発達障がいのある子の「いいところ」応援計画～子どもの見方を変えて味方になろう～」
講師　星槎大学大学院教育実践研究科　准教授　阿部俊彦氏　参加者101人

5 活動指標

項目	内容	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	発達検査、発達相談、すくすく発達相談、小学校等巡回相談における相談児童・生徒数	平成 27 年度	415.00 人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	398.00 人	人	
		平成 29 年度	386.00 人	人	
		平成 30 年度	356.00 人	人	

6 成果指標

項目	内容	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	小学校等巡回相談実施回数	平成 27 年度	7.00 回	6.00 回	小学校等巡回相談を全小中学校にて実施する。
指標の説明（指標式）	小学校等巡回相談の実施回数	平成 28 年度	8.00 回	9.00 回	
		平成 29 年度	9.00 回	9.00 回	
		平成 30 年度	13.00 回	9.00 回	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,584,096 円	決算額	1,499,865 円

款	4	衛生費	予算現額	130,978,000 円
項	1	保健衛生費	決算額	128,186,177 円
目	4	いこまい館費	前年度決算額	134,960,482 円
			対前年比	95 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	いこまい館管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標 : 目標Ⅰ 健康で元気に暮らせるまち							
	基本施策 : 1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する							
	施策の展開方向: ⑴ 一次予防の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	施設利用者
2 働きかける相手(対象)	指定管理者、施設、施設利用者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	いこまい館を利用する人が安心で快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

いこまい館管理事業
　いこまい館施設維持管理業務
　　指定管理者により施設の管理運営を実施しました。指定管理期間は平成30年度から令和４年度までの５年間です。
　　年間施設利用者数は、有料施設 188,702人、無料施設 26,142人、合計 214,844人でした。
　ア　有料施設　(188,702人)
　　(ｱ)　トレーニングジム　79,209人
　　(ｲ)　水中トレーニング室　27,632人
　　(ｳ)　介助浴室　183人
　　(ｴ)　自主活動スペース　(81,678人)
　　　a　多目的室Ａ　25,259人
　　　b　多目的室Ｂ　17,868人
　　　c　調理室・ﾗﾝﾁﾙｰﾑ　3,570人
　　　d　会議室Ａ　6,131人
　　　e　会議室Ｂ　10,246人
　　　f　和室（３室）　12,217人
　　　g　音楽練習室　3,995人
　　　h　指導会議室（２室）　2,392人
　イ　無料施設　(26,142人)
　　(ｱ)　町民活動センター　6,799人
　　(ｲ)　おもちゃルーム　19,343人
　　(ｳ)　無料町民ギャラリー　93日間　×（８団体）※利用日数のみ

5 活動指標		年度	実績値		個別計画、指針等による目標値
指標名	管理運営会議の開催数	平成 27 年度	12.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	施設設置者である町と指定管理者との管理運営会議	平成 28 年度	12.00 回	回	
		平成 29 年度	12.00 回	回	
		平成 30 年度	12.00 回	回	

6 成果指標		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	有料施設の利用人数	平成 27 年度	173,286.00 人	174,490.00 人	前年度実績
指標の説明（指標式）	トレーニングルーム、水中トレーニング室等有料施設の利用人数	平成 28 年度	185,101.00 人	173,286.00 人	
		平成 29 年度	183,791.00 人	185,101.00 人	
		平成 30 年度	188,702.00 人	183,791.00 人	

7 直接事業費計	前年度決算額	134,960,482 円	決算額	128,186,177 円

款	4	衛生費	予算現額	476,087,000 円
項	1	保健衛生費	決算額	470,093,647 円
目	5	環境衛生費	前年度決算額	482,284,774 円
			対前年比	97.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	環境衛生一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	02	－

2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち
	基本施策：５　人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる
	施策の展開方向：－

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	町民、職員
2　働きかける相手(対象)	職員
3　どのような状態にしたいのか(意図)	環境行政全般を円滑に推進します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

環境衛生一般事務事業
⑴　愛知県主催の環境基礎研修、災害廃棄物処理計画研修、ごみ再資源化対策先進地視察、東部丘陵生態系ネットワーク協議会会議等の研修会や関係機関の会議に参加しました。
⑵　作業服、防寒着、住宅地図、ハチ駆除剤等を購入しました。
⑶　啓発用印刷物を作成し、効果的に啓発できるよう努めました。

5　活動指標

指標名	研修会、協議会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	回 42.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	回 59.00	回	
		平成 29 年度	回 44.00	回	
		平成 30 年度	回 31.00	回	

6　直接事業費計	前年度決算額	100,664　円	決算額	102,581　円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	一般廃棄物対策事業	ｺｰﾄﾞ 01	04	01	05	03	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち						
	基本施策：7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる						
	施策の展開方向：⑵ ごみ・し尿の適正処理						

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、事業者
2 働きかける相手(対象)	町民、事業者、一般廃棄物
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町内から発生する一般廃棄物を、計画的、衛生的かつ効率的に収集・運搬し、適正に処理できるようにします。また、焼却処理など、処理しなければならないごみの量を抑制するようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　一般廃棄物処理事業

⑴　計画収集等

町内全域で、家庭系ごみは町指定袋により衛生的な収集（可燃ごみは週２回、不燃ごみ月２回、不燃ごみは平成29年10月より資源ごみ金属類と資源ごみ陶磁器・ガラスに分類）を行い、事業系ごみは許可業者による収集を行い、尾三衛生組合等に搬入し、処分しました。粗大ごみは、電話予約により受け付けし、毎週１回戸別有料方式で収集を行い、尾三衛生組合に搬入し、処分しました。

［年間排出量（家庭系及び事業系の合計。尾三衛生組合への直接搬入を含む。）］

ア	可燃ごみ	10,814t	（うち計画収集 7,730t）
イ	資源ごみ金属類	356t	（うち計画収集 356t）
ウ	資源ごみ陶磁器・ガラス	119t	（うち計画収集 119t）
エ	粗大ごみ	591t	（うち計画収集 70t）

⑵　指定ごみ袋

ごみ収集のための指定ごみ袋を印刷し指定ごみ袋の販売（ごみ処理手数料の徴収）を販売店に委託しました。

委託店舗数　70店舗

⑶　犬猫等動物死骸処理

公道等において、交通事故等で死亡した犬猫等の死骸処理を行いました。

処理件数　150件

⑷　きれいなまちキャンペーンの実施

環境美化推進員の協力を得て、幹線道路沿いのポイ捨てごみを拾うなどのきれいなまちキャンペーンを年２回実施しました。

平成30年５月18日　白土、傍示本、祐福寺地区

平成30年10月12日　白鳥、和合地区

2　不法投棄監視等事業

ごみの適正処理推進のため、不法投棄が多い場所を不法投棄重点監視区域として定めるとともに、不法投棄や散乱ごみに対しての監視パトロール及び回収・運搬等の事業を行いました。

⑴　パトロール日数　144日

⑵　不法投棄確認件数　194件

⑶　回収した不法投棄物の重量　9,230kg

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	処理しなければならないごみの量	平成 27 年度	11,813.00 t	t	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	可燃・不燃（資源）・粗大ごみの年間排出量（直接搬入を含む。）	平成 28 年度	11,925.00 t	t	
		平成 29 年度	11,779.00 t	t	
		平成 30 年度	11,880.00 t	t	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	処理しなければならないごみの町民１人１日当たりの量	平成 27 年度	753.00 g／日	740.00 g／日	第５次総合計画目標値 平成27年 740ｇ/日 平成32年 720ｇ/日
指標の説明（指標式）	可燃・不燃（資源）・粗大ごみの年間排出量（直接搬入を含む。）／年度末人口／年間日数	平成 28 年度	755.00 g／日	720.00 g／日	
		平成 29 年度	741.00 g／日	720.00 g／日	
		平成 30 年度	742.00 g／日	720.00 g／日	

7 直接事業費計	前年度決算額	139,063,036 円	決算額	141,838,533 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	廃棄物減量推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	04	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：⑴ 3Rの推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、廃棄物減量推進員、区・自治会、集団資源回収団体、資源の再生事業者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	ごみの減量化・資源化を推進し、限りある資源を将来にわたって有効に活用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 廃棄物減量推進員及び環境美化推進員事業
町内17地区に各２名（合計34名）の推進員を配置し、ごみの減量の啓発と資源回収活動の推進、廃棄物の適正処理の推進等を行いました。推進員の主な職務は、①廃棄物減量に関する啓発、②再生資源の回収活動の推進、③廃棄物の適正処理の推進、④不法投棄等の監視に係る活動、⑤環境保全行事等への参加、⑥ごみ集積場所の設置等に関する連絡調整、⑦ポイ捨て等禁止条例の周知及び啓発、⑧きれいなまちキャンペーンの実施があります。

2 資源ごみ回収促進事業
⑴ 資源回収ステーションでの資源回収の推進
常設の資源回収ステーション２か所（北部・中部）で資源の回収に努めました。
ア 回収品目 26品目
（新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、紙製容器包装、雑がみ、プラスチック製容器包装、ペットボトル、白色トレイ、蛍光管、びん、缶、廃食用油、乾電池、スプレー缶、使い捨てライター、その他の紙製容器包装、割りばし、ペットボトルのキャップ、インクカートリッジ、水銀入り体温計、小型家電、充電式電池、ボタン電池、バッテリー）
イ 回収量 795t
⑵ 地区における資源回収の促進
資源の分別収集を実施した区・自治会に対し、月額9,000円の奨励金を交付しました。
ア 対象品目 ２品目（ペットボトル、びん）
イ 回収量 34ｔ
⑶ 集団資源回収の促進
集団資源回収実施団体に対し、資源回収量に応じ、奨励金を交付しました。
ア 団体数 41団体
イ 対象品目 ７品目（新聞、雑誌、段ボール、布類、紙パック、アルミ缶、スチール缶）
ウ 回収量 930ｔ
⑷ 生ごみの減量化
生ごみの減量対策として、電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器の購入者に補助金を交付しました。
補助実績 電動生ごみ処理機５基、生ごみ処理容器３基

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	資源回収量	平成 27 年度	1,994.00 t	t	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	資源回収ステーション、地区資源回収、集団資源回収で回収した資源の量	平成 28 年度	1,897.00 t	t	
			平成 29 年度	1,846.00 t	t	
			平成 30 年度	1,759.00 t	t	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	資源回収率	平成 27 年度	14.44 %	20.00 %	第５次総合計画目標値 平成27年 20% 平成32年 22%
	指標の説明（指標式）	資源回収量÷（資源回収量＋処理しなければならないごみ量）×100	平成 28 年度	13.72 %	22.00 %	
			平成 29 年度	15.91 %	22.00 %	
			平成 30 年度	15.35 %	22.00 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	25,112,019 円	決算額	25,502,895 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	し尿処理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	05	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：7 資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：⑵ ごみ・し尿の適正処理							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民、日東衛生組合
3 どのような状態にしたいのか(意図)	生し尿を適正に収集処理することにより、清潔な生活環境を保持するようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	し尿処理事業 ⑴ し尿処理 し尿汲取券で従量制により収集し、処理施設である日東衛生組合に搬入し、処理しました。 年間収集量 生し尿収集量 346.83kℓ (参考 浄化槽汚泥収集量 7404.49kℓ) ⑵ し尿汲取券 し尿汲取券の販売（し尿処理手数料の徴収）を販売店に委託しました。

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	生し尿収集量	平成 27 年度	429.38 kℓ	kℓ	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	401.96 kℓ	kℓ	
			平成 29 年度	344.23 kℓ	kℓ	
			平成 30 年度	346.83 kℓ	kℓ	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	し尿収集量の処理施設搬入割合	平成 27 年度	100.00 %	100.00 %	収集したし尿の全てを処理施設へ搬入することを目標とします。
	指標の説明（指標式）	し尿搬入量÷し尿収集量×100	平成 28 年度	100.00 %	100.00 %	
			平成 29 年度	100.00 %	100.00 %	
			平成 30 年度	100.00 %	100.00 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,103,320 円	決算額	1,998,304 円

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	日東衛生組合負担金事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	06	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：7　資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：⑵　ごみ・し尿の適正処理							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	町民
2　働きかける相手(対象)	日東衛生組合
3　どのような状態にしたいのか(意図)	日東衛生組合が健全に運営され、し尿処理事業を円滑に運営します。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	日東衛生組合負担金事業 ⑴　日東衛生組合（本町及び日進市で構成する一部事務組合）の運営に必要な負担金を支出しました。 ⑵　組合議会、正副管理者会議、管内担当課長会議、モニター会議等の会議に出席しました。 ⑶　日東衛生組合の平成30年度末の解散にむけて関係機関と協議を行いました。

5　活動指標			年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	生し尿、浄化槽汚泥の処理量（東郷町分）	平成 27 年度	7,624.25 kℓ	kℓ	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	7,682.65 kℓ	kℓ	
			平成 29 年度	7,583.61 kℓ	kℓ	
			平成 30 年度	7,751.32 kℓ	kℓ	

6　直接事業費計	前年度決算額	64,678,000　円	決　算　額	61,960,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1　事業名	狂犬病対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	07	－
2　総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：５　人と自然が共生し､うるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：⑷　環境衛生対策の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1　誰のために(受益者)	町民
2　働きかける相手(対象)	犬の所有者、獣医、犬
3　どのような状態にしたいのか(意図)	狂犬病の発生の予防及びそのまん延を防止・撲滅し、公衆衛生の向上を図るとともに、無登録犬の減少と飼い主のマナーの向上が図られるようにします。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	狂犬病対策事業 広報紙によるＰＲ、飼い主へのはがきによる予防注射案内の送付を実施するとともに、集合予防注射を６地区において実施しました。さらに、預託による予防注射を22病院で実施しました。 ⑴　犬登録頭数　2,996頭 ⑵　注射頭数　　2,370頭

5　活動指標		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	狂犬病予防注射接種頭数	平成 27 年度	2,464.00 頭	頭	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	2,455.00 頭	頭	
		平成 29 年度	2,353.00 頭	頭	
		平成 30 年度	2,370.00 頭	頭	

6　成果指標		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	狂犬病予防注射接種率	平成 27 年度	78.60 %	79.25 %	前年度実績値を目標値とします。
指標の説明（指標式）	狂犬病予防注射接種頭数÷登録犬数×100	平成 28 年度	79.24 %	78.60 %	
		平成 29 年度	76.90 %	79.24 %	
		平成 30 年度	79.11 %	76.90 %	

7　直接事業費計	前年度決算額	810,629 円	決算額	826,408 円

Ⅰ．事業の目的体系

1．事　　業　　名	尾三衛生組合負担金事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	08	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：7　資源を大切にし、環境負荷の少ないまちをつくる							
	施策の展開方向：⑵　ごみ・し尿の適正処理							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	町民
2　働きかける相手(対象)	尾三衛生組合
3　どのような状態にしたいのか(意図)	尾三衛生組合が健全に運営され、ごみ処理事業を円滑に運営します。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	尾三衛生組合負担金事業 ⑴　尾三衛生組合（本町、日進市及びみよし市で構成する一部事務組合）の運営に必要な負担金を支出しました。 ⑵　組合議会、正副管理者会議、管内担当課長会議、管内担当者会議、モニター会議、循環型社会形成推進協議会等の会議に出席しました。

5 活動指標			年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	尾三衛生組合へのごみ搬入量（東郷町分）	平成 27 年度	t 11,958.00	t	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	可燃、不燃、粗大及び資源（びん・電池・蛍光管）の搬入量※H28年度より缶の搬入なし	平成 28 年度	t 12,040.39	t	
			平成 29 年度	t 11,788.26	t	
			平成 30 年度	t 11,880.05	t	

6　直接事業費計	前年度決算額	210,268,000　円	決　算　額	198,256,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	環境保全事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	09	−

2 総合計画の施策体系	基本目標： 目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち
	基本施策： 5 人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる
	施策の展開方向： ⑵ 環境学習の推進

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	自然・環境に関心のある町民
3 どのような状態にしたいのか(意図)	緑豊かな東郷町らしさを守り、自然環境の大切さを感じることが出来るように地域の環境保全を図り、幼少期から環境に対する学習の機会を提供することで、町民自らが地域に愛着を持てるような自然環境が築かれるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 環境保全事業
ホタル生息地の調査及びホームページでの公表
⑴ 調査回数 １回
⑵ 調査場所 町内19か所

2 環境学習推進事業
環境美化と保全、ごみの減量、リサイクル等を通して、子どもたちが環境や自然について楽しみながら学習できるイベント、エコキャンペーン「こどもエコばんぱくin東郷」2018を開催予定でしたが、台風24号の接近に伴い参加者の安全を考慮し中止としました。
⑴ 開催予定日 ９月30日（日）
⑵ 予定会場 イーストプラザいこまい館芝生広場

3 環境学習講座（小学生向け）
⑴ 西部児童館 ８月21日（火） 参加者数31名
⑵ 東部児童館 ８月23日（木） 参加者数28名

5 活動指標

指標名	事業開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	2.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	ホタル生息地調査及びこどもエコばんぱくの開催回数	平成 28 年度	2.00 回	回	
		平成 29 年度	2.00 回	回	
		平成 30 年度	1.00 回	回	

6 成果指標

指標名	環境保全関連事業参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成 27 年度	1,800.00 人	2,000.00 人	前年度実績
指標の説明（指標式）	こどもエコばんぱくの参加者数	平成 28 年度	2,100.00 人	1,800.00 人	
		平成 29 年度	2,200.00 人	2,100.00 人	
		平成 30 年度	0.00 人	2,200.00 人	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,063,602 円	決算額	756,055 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	地球温暖化防止活動推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	10	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：６ 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める							
	施策の展開方向：(1) 地球温暖化対策の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	一般家庭、事業者及び町職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	地球温暖化の防止、低炭素社会への転換、資源の有効利用、環境負担の軽減、環境保全等について、住民、事業者、職員が自ら率先して行動できるようにするとともに、環境にやさしいライフスタイルへの転換が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

１　東郷版ＩＳＯ推進事業
　東郷版ＩＳＯの普及
　「東郷版ＩＳＯチャレンジ１００」について、広報、ホームページで積極的なＰＲを行いました。

２　レジ袋削減推進事業
　地球温暖化防止と循環型社会の形成を目的に、「東郷町におけるレジ袋削減に関する協定」を締結した町内のスーパー等でレジ袋の有料化を行っています。
　参加店舗数　５店舗
　レジ袋辞退率　91.2%

３　東郷町地球温暖化対策設備導入促進費補助事業
　地球温暖化対策設備の設置者に対して、設置及び購入に要する費用の一部を補助することにより、エネルギーの地産地消に対する意識の高揚をとともに、温室効果ガスの排出を抑制することで地球温暖化防止の促進を図ることを目的として補助金を交付しました。
(1) 住宅用太陽光発電施設
　補助件数　62件
　補助金額　4,709,000円
(2) 家庭用エネルギー管理システム
　補助件数　18件
　補助金額　180,000円
(3) 家庭用燃料電池システム
　補助件数　15件
　補助金額　750,000円
(4) 定置用リチウムイオン蓄電システム
　補助件数　28件
　補助金額　1,400,000円
(5) 電気自動車等充給電設備
　補助件数　１件
　補助金額　50,000円

5 活動指標

指標名	東郷版ＩＳＯ参加家族数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標の説明（指標式）		平成27年度	12.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
		平成28年度	17.00 件	件	
		平成29年度	11.00 件	件	
		平成30年度	61.00 件	件	

6 成果指標

指標名	東郷版ＩＳＯ認定家族数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標の説明（指標式）	東郷版ＩＳＯチャレンジ１００においてエコファミリーとして認定された家族数	平成27年度	12.00 件	26.00 件	前年度実績値
		平成28年度	17.00 件	12.00 件	
		平成29年度	11.00 件	17.00 件	
		平成30年度	61.00 件	11.00 件	

7 直接事業費計	前年度決算額	5,954,000 円	決算額	7,121,965 円

款	4	衛生費	予　算　現　額	4,443,000 円
項	1	保健衛生費	決　算　額	3,983,433 円
目	6	公害対策費	前年度決算額	2,432,026 円
			対　前　年　比	163.8 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事　業　名	水質浄化事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	06	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：５　人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：⑶　環境保全対策の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	市街化調整区域の町民、子ども、町民、水質
3 どのような状態にしたいのか(意図)	河川等の水質を浄化することによって、水環境への負荷の軽減を図ります。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	１　合併処理浄化槽推進事業 　生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、市街化調整区域で単独浄化槽から合併処理浄化槽に付替えた者に対して補助金を交付しました。（実績６件、2,815,000円） ２　水質浄化啓発事業 ⑴　水質検査 ア　河川の水質汚濁状況を定期的に把握するため、11河川等12か所の水質検査を３回行いました。 イ　水環境の保全に努めるため、生活排水路４か所の水質検査を２回行いました。 ウ　平成３０年８月に河川上流付近で起こった火災による水実状況の変化を把握するための河川水質検査を１回行いました。 ⑵　生活排水クリーン推進員の委嘱 　生活排水による公共水域の水質汚濁の防止と町民の生活環境の保全を図るため、生活排水クリーン推進員４名を委嘱し、町民に対し家庭でできる排水浄化について、啓発に努めました。 ⑶　水生生物調査（境川生きものウォッチング） 　境川河川敷（交通児童遊園前）において、町内の小学生３～６年生を対象に境川に生息する生物を採取し、その生物指標により水質階級を決める事業を通して生活排水の浄化推進を啓発しました。 ア　開 催 日　８月４日（土） イ　参 加 者　12グループ34名 ウ　調査結果　水質階級Ⅲ（きたない水）

5 活動指標			年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	合併処理浄化槽付替件数	平成 27 年度	基 2.00	基	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付替件数	平成 28 年度	基 1.00	基	
			平成 29 年度	基 3.00	基	
			平成 30 年度	基 6.00	基	

6 成果指標			年　度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	境川下流（四ツ塚）の水質（ＢＯＤ）測定値	平成 27 年度	mg/ℓ 4.50	mg/ℓ 3.00	生活排水対策推進計画に定める目標値（生活環境の保全に関する環境基準に定める河川類型ＢのＢＯＤ基準値（3.0mg/ℓ以下））
	指標の説明（指標式）	水質の汚濁状況を表すＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）の測定値の平均（年３回測定）	平成 28 年度	mg/ℓ 3.56	mg/ℓ 3.00	
			平成 29 年度	mg/ℓ 4.26	mg/ℓ 3.00	
			平成 30 年度	mg/ℓ 8.53	mg/ℓ 3.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,950,026 円	決　算　額	3,421,105 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	公害対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	06	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：５ 人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：⑶ 環境保全対策の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	事業者、町民、土壌、騒音、振動、悪臭など
3 どのような状態にしたいのか(意図)	発生した公害が早期に解決され、良好な生活環境が保全されるようにします。また、有害物質による土壌汚染や土砂の流出等による災害の発生が未然に防止されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

１ 公害対策事業
生活環境に悪影響を及ぼす公害を監視し、町民の生活環境を良好に保つとともに、通報に対して直ちに調査し対処しました。
また、町民に対し環境保全に関する啓発を実施するとともに、近隣市と積極的に情報交換をしました。
⑴ 公害苦情件数 ９件（典型７公害等に関するもの）
⑵ 東郷町土質等規制条例許可申請件数 ０件

２ 騒音対策事業
⑴ 届出の受付
騒音規制法、振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例（以下「愛知県条例」。）に基づく騒音・振動などの届出を受け、監視するとともに、苦情処理を行い快適な生活環境を守りました。
ア 特定施設の設置届出件数 ３件
イ 愛知県条例に基づく悪臭関係工場等の届出件数 ４件
ウ 特定建設作業実施届出件数
(ｱ) 騒音規制法に基づく届出 191件
(ｲ) 振動規制法に基づく届出 92件
(ｳ) 愛知県条例に基づく届出 524件
⑵ 騒音測定等
町内の幹線道路の騒音状況を把握するため、町内６路線７地点の騒音測定を実施し、町民の健康及び生活環境の保全を図りました。

３ 環境放射線対策事業
福島第１原子力発電所の事故に伴い、町内の空間放射線量を監視するため測定し、公表しました。
定期測定
６施設で２回、空間放射線量を測定し、公表しました。
１回目 平成30年５月22日
２回目 平成30年11月15日

5 活動指標

指標名	公害苦情処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標の説明（指標式）		平成 27 年度	件 10.00	件	個別計画による目標値はありません。
		平成 28 年度	件 9.00	件	
		平成 29 年度	件 9.00	件	
		平成 30 年度	件 9.00	件	

6 成果指標

指標名	苦情解決率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標の説明（指標式）	（苦情件数-未解決件数）÷苦情件数×100	平成 27 年度	% 100.00	% 100.00	発生した苦情は100%解決を目指します。
		平成 28 年度	% 100.00	% 100.00	
		平成 29 年度	% 100.00	% 100.00	
		平成 30 年度	% 100.00	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	482,000 円	決算額	562,328 円

款	5	労働費	予算現額	19,116,000 円
項	1	労働諸費	決算額	19,110,000 円
目	1	労働諸費	前年度決算額	17,073,000 円
			対前年比	111.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	勤労者対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	05	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向： －							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	勤労者
2 働きかける相手(対象)	勤労者、職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	勤労者に対して、福祉の増進及び雇用の安定が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

勤労者対策事業
(1) 尾張地域雇用対策連絡会議等の研修会や関係機関の会議へ参加しました。
尾張地域雇用対策連絡会議では、最近の雇用情勢、愛知県の雇用安定対策、尾張地域における公共職業訓練、尾張県民事務所主要労働行政施策、各市町の労働関係事業等について、質疑や意見交換を行いました。
(2) 社会保険労務士による労働相談を毎月１回第２水曜日に実施しました。
ア 相談実績
18件
イ 相談内容
パワーハラスメント３件、職場いじめ２件、有休２件、労働時間３件、雇用保険２件、業務災害２件、年金１件、その他３件

5 活動指標

指標名	労働相談開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	12.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	平成26年度からの新規事業	平成 28 年度	12.00 回	回	
		平成 29 年度	12.00 回	回	
		平成 30 年度	12.00 回	回	

6 成果指標

指標名	労働相談件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成 27 年度	16.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	労働相談開催時において社会保険労務士が相談を受けた件数。	平成 28 年度	15.00 件	件	
		平成 29 年度	22.00 件	件	
		平成 30 年度	18.00 件	件	

7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

Ⅰ. 事業の目的体系

1 事業名	シルバー人材センター運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	05	01	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標： 目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策： 2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する							
	施策の展開方向： (2) 地域で活躍できる環境づくり							

Ⅱ. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	高齢者
2 働きかける相手(対象)	公益社団法人東郷町シルバー人材センター
3 どのような状態にしたいのか(意図)	長年の職業的経験や技能を活かしたいと望む高齢者に働く機会を提供し、高齢者が生きがいのある高齢生活を享受できるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	シルバー人材センター運営事業 (1) 公益社団法人東郷町シルバー人材センターの平成30年度事業報告 ア 会員数 269人 イ 事務局職員数 ４名 ウ 就業率 72.9% エ 受託事業収入 96,862,906円 オ 派遣事業支出 10,648,822円 カ シルバー生活応援隊事業実績 37件 (2) シルバー人材センターに対して運営事業費補助金を交付しました。 ア 補助対象経費 給料手当 21,297,796円 法定福利費 3,465,525円 イ 補助金額 19,110,000円

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	受託事業収入	平成 27 年度	千円 105,129.00	千円 113,000.00	公益社団法人東郷町シルバー人材センター第３次中期計画
	指標の説明(指標式)	就業機会の確保及び提供による収入	平成 28 年度	千円 107,381.00	千円 118,000.00	
			平成 29 年度	千円 98,099.00	千円 107,500.00	
			平成 30 年度	千円 96,863.00	千円 109,000.00	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	会員就業率	平成 27 年度	% 76.30	% 80.60	公益社団法人東郷町シルバー人材センター第３次中期計画
	指標の説明(指標式)	就業実人数÷会員数×100	平成 28 年度	% 75.60	% 81.40	
			平成 29 年度	% 71.80	% 80.00	
			平成 30 年度	% 72.90	% 82.40	

7 直接事業費計	前年度決算額	17,073,000 円	決算額	19,110,000 円

款	6	農林水産業費	予　算　現　額	15,403,524 円
項	1	農業費	決　算　額	12,813,187 円
目	1	農業委員会費	前年度決算額	11,094,990 円
			対　前　年　比	115.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1. 事　業　名	農業委員会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	01	02	－
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：－							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	農地所有者、農業委員、農地利用最適化推進委員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農地を効率的に利用する耕作者の権利取得等を促進するなど農地の利用関係を調整するとともに、貴重な資源である農地の転用を適切に規制し、町内で良好な農業経営が図られるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業委員会運営事業 農地の効率的な利用を図るため、農業的土地利用の観点から的確な農業委員会活動を行いました。 ⑴ 任期満了に伴う農業委員会の任命 農業委員　10名 ⑵ 新制度への移行に伴う農地利用最適化推進の委嘱 農地利用最適化推進委員　５名 ⑶ 農業委員会総会開催回数　12回（毎月１回） ⑷ 農地法関係等の届出及び許可等の取扱い件数 ア　３条許可　３件 イ　４条許可　１件 ウ　４条１項７号届出　８件 エ　５条許可　17件 オ　５条１項６号届出　105件 合計　134件 ⑸ 先進地視察研修 研修先：自然耕房あおき（京都府京丹後市）、京都府京丹後市農業委員会

5 活動指標		年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	農業委員会の開催回数	平成 27 年度	12.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
		平成 28 年度	12.00 回	回	
指標の説明（指標式）		平成 29 年度	12.00 回	回	
		平成 30 年度	12.00 回	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	3,688,786 円	決　算　額	5,199,783 円

款	6	農林水産業費	予算現額	21,230,596 円
項	1	農業費	決算額	20,622,221 円
目	2	農業総務費	前年度決算額	18,541,131 円
			対前年比	111.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1. 事業名	農業総務一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	02	02	－
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：—							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	農業者、職員
2 働きかける相手(対象)	職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農業行政全般を円滑に推進できるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業総務一般事務事業 農業関係機関の会議や研修会に参加しました。 ア　会議等 農業次世代人材投資事業説明会、農業再生協議会担当者会議　等　４回 イ　研修会 とうごう農学校視察研修、フードビジネス成長応援セミナー　等　６回

5 活動指標		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	会議、研修会等への参加回数	平成 27 年度	27.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明(指標式)		平成 28 年度	13.00 回	回	
		平成 29 年度	19.00 回	回	
		平成 30 年度	10.00 回	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	43,707 円	決算額	52,353 円

款	6	農林水産業費	予算現額	9,474,880 円
項	1	農業費	決算額	4,046,926 円
目	3	農業振興費	前年度決算額	4,708,997 円
			対前年比	85.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	農業振興一般事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1　地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：⑴ 担い手及び新規就農者の育成							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	農業者、農業関係団体
3 どのような状態にしたいのか(意図)	各種の農業施策事業を展開し、担い手農家の育成や特産品の開発・普及を進め、農業の活性化が図られるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業振興一般事業 東郷町商工会を中心に推進する「愛２ブランド」などの特産品開発事業を支援し、ローゼルのブランド化を推進することで農産物の消費拡大を図り、農業関係団体に対しては、各種補助金を交付し、本町の農業振興のための活動を支援しました。 ⑴ 特産品開発事業として、ローゼルの作付面積に応じた補助金170,000円や東郷町商工会が行った特産品開発に係る経費に対する補助金134,000円を交付しました。 ⑵ 農業団体育成事業として農協の営農組合に対し補助金1,800,000円を交付しました。 ⑶ 農業経営リーダーズ協議会へ補助金26,000円を交付しました。 ⑷ 農業振興地域内農用地区域を個別案件毎に適切に変更し、農業振興地域整備計画の全体を見直しました。 除外　８件　　50,685.00㎡ 編入　０件　　　　０㎡

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	農用地区域の除外申請及び編入の件数	平成 27 年度	4.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	7.00 件	件	
			平成 29 年度	6.00 件	件	
			平成 30 年度	8.00 件	件	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	特産品（ローゼル）の作付面積	平成 27 年度	2,000.00 ㎡	㎡	過去３年間の平均
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	2,000.00 ㎡	1,973.33 ㎡	
			平成 29 年度	1,440.00 ㎡	1,986.67 ㎡	
			平成 30 年度	1,700.00 ㎡	1,813.33 ㎡	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,467,556 円	決算額	2,179,545 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	ふるさと農園管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	03	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：５ 美しい街並み景観のあるまちをつくる							
	施策の展開方向：⑵ 農地の景観保全							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	ふるさと農園利用者
2 働きかける相手(対象)	ふるさと農園利用者、町民
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町民が農業に対する理解を深める足がかりとして、ふるさと農園について知ってもらい、新たな利用者を増やすとともに、農園がより使いやすく親しみやすい場所として利用されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

ふるさと農園管理事業
農園の貸出し及び農園の維持管理を実施しました。
⑴ 区画
かがやの里　52区画（20㎡／１区画）年3,000円／１区画（利用率94.23％）
かがみだの里　64区画（20㎡／１区画）年3,000円／１区画（利用率84.37％）
⑵ 維持管理事業
利用者による草刈り、シルバー人材センターに草刈りを委託しました。
１回目　５月25日
２回目　11月17日
⑶ 盗難防止措置として、巡視を行いました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	ふるさと農園維持管理事業数	平成 27 年度	回数 2.00	回数	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各農園の草刈、ごみ処理等	平成 28 年度	回数 2.00	回数	
		平成 29 年度	回数 2.00	回数	
		平成 30 年度	回数 2.00	回数	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	ふるさと農園利用率	平成 27 年度	% 100.00	% 100.00	全区画の利用
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	% 100.00	% 100.00	
		平成 29 年度	% 88.79	% 100.00	
		平成 30 年度	% 90.26	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	526,297 円	決算額	599,703 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	農学校運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	03	03	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：(1) 担い手及び新規就農者の育成							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農学校生徒
2 働きかける相手(対象)	農学校生徒、講師
3 どのような状態にしたいのか(意図)	とうごう農学校を設置し農業の学習、体験の機会を提供して多様な農業の育成を進め、自立して農業ができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

農学校運営事業
　農業の実践及び農業を体験することにより、農業の重要性を各自が認識することができました。
　⑴ 参加者数　22名（応募者数　22名）
　⑵ 期間
　　ア　春夏露地野菜　４月から７月まで
　　イ　秋冬露地野菜　８月から11月まで
　⑶ 実習及び講座回数
　　　実習　年　32回
　　　講座　年　８回
　⑷ 栽培作物
　　ア　春夏　スイカ、カボチャ、キュウリ、ピーマン、ナス、トマト等
　　イ　秋冬　白菜、大根、キャベツ、小松菜、ブロッコリ、カブ等

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	実習、講座回数、研修等	平成 27 年度	40.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	44.00 回	回	
		平成 29 年度	44.00 回	回	
		平成 30 年度	45.00 回	回	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	農学校受講者数	平成 27 年度	18.00 人	20.00 人	第５次総合計画による目標値
指標の説明（指標式）	農学校の受講者数	平成 28 年度	23.00 人	25.00 人	
		平成 29 年度	22.00 人	25.00 人	
		平成 30 年度	22.00 人	25.00 人	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,715,144 円	決算額	1,267,678 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	東郷軽トラ市事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	03	04 －
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち						
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す						
	施策の展開方向：⑷ 地産地消の推進						

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	東郷軽トラ市出店者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農産物の地産地消を促進し、農業の活性化を図るとともに農業者、商業者及び消費者の相互の交流を深め、賑わいの創出に寄与します。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	東郷軽トラ市事業 東郷軽トラ市を開催しました。 開催実績 ⑴ イーストプラザいこまい館 51回 ⑵ 県営諸輪住宅 23回 合 計 74回

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	東郷軽トラ市開催回数	平成 27 年度	回 46.00	回 35.00	前年度実績
	指標の説明（指標式）	1年間の東郷軽トラ市開催回数	平成 28 年度	回 48.00	回 46.00	
			平成 29 年度	回 71.00	回 48.00	
			平成 30 年度	回 75.00	回 71.00	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	東郷軽トラ市委員数	平成 27 年度	人 12.00	人 13.00	前年度実績
	指標の説明（指標式）	東郷軽トラ市委員数	平成 28 年度	人 11.00	人 12.00	
			平成 29 年度	人 13.00	人 11.00	
			平成 30 年度	人 15.00	人 13.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	6	農林水産業費	予算現額	6,007,000 円
項	1	農業費	決算額	5,311,027 円
目	4	地域農政推進費	前年度決算額	9,814,481 円
			対前年比	54.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	水田農業構造改革対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：(1) 担い手及び新規就農者の育成							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農業者
2 働きかける相手(対象)	農業者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	米の需要均衡の回復と価格安定のため、需要に応じた米の計画的生産の徹底を図るとともに、担い手への支援及び育成を行い、遊休農地対策を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

水田農業構造改革対策事業
　需要に応じた作物生産と良好な水田環境の保全を図りながら生産調整目標の達成、水田農業の構造改革を推進し、消費者の期待に応える取組を支援しました。
(1) 担い手育成事業（土地利用集積助成金）
　農業の担い手が行う土地利用集積に対して作付け面積に応じて、担い手に助成しました。
　　7,713a×150円/a＝1,156,950円
(2) 担い手育成事業（農作業委託費助成金）
　担い手に農作業の委託をした農業者に、委託料金の一部を助成しました。
　　助成額　1,134,277円
　　≪実績≫　耕起　131,964㎡（助成単価1.0円/㎡）
　　　　　　代掻き　41,295㎡（助成単価1.2円/㎡）
　　　　　　田植え　128,281㎡（助成単価1.1円/㎡）
　　　　　　刈取り　245,968㎡（助成単価3.3円/㎡）
(3) 農業次世代人材投資資金（経営開始型）
　新たに就農する人に補助金を交付しました。
　　補助金額　2,250,000円
　　≪実績≫　1,125,000円×２回×１経営体

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	利用権設定面積	平成 27 年度	70.24 ha	60.00 ha	東郷町地域水田農業ビジョンにおける担い手への利用権設定目標面積
	指標の説明（指標式）	東郷町地域水田農業ビジョンにおける担い手への利用権設定目標面積（使用貸借を含む。）	平成 28 年度	77.71 ha	60.00 ha	
			平成 29 年度	77.86 ha	60.00 ha	
			平成 30 年度	77.13 ha	60.00 ha	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	担い手への農地の集積率	平成 27 年度	22.50 %	15.00 %	前年実績値
	指標の説明（指標式）	管内農地のうち、担い手に集積された農地の割合	平成 28 年度	23.39 %	22.50 %	
			平成 29 年度	23.64 %	23.39 %	
			平成 30 年度	24.10 %	23.64 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	9,814,481 円	決算額	5,311,027 円

款	6	農林水産業費	予　算　現　額	9,940,000 円
項	1	農業費	決　算　額	9,511,753 円
目	5	農地費	前年度決算額	6,726,962 円
			対　前　年　比	141.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	農業用施設維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1　地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：　―							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農業者、町民
2 働きかける相手(対象)	農業用ため池の所有者又は管理者、農業用施設
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町内にある農業用ため池の維持管理を適正に行い、農業用水を安定的に供給するとともに自然災害等を未然に防止できるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業用施設維持管理事業 ⑴　町内にある農業用ため池を維持管理するため、５つの地区が実施した農業用ため池の管理事業（堤体の草刈り及び除去）に対し補助しました。 ア　諸輪地区　８か所　7,650㎡　153,000円 イ　和合地区　２か所　2,238㎡　44,000円 ウ　傍示本地区　４か所　6,831㎡　136,000円 エ　祐福寺地区　２か所　3,456㎡　69,000円 オ　部田地区　２か所　1,425㎡　28,000円 合　計　18か所 21,600㎡　430,000円 ⑵　県営土地改良事業東郷長池地区防災ダム事業負担金 愛知県が実施する、農業用ため池（長池）の耐震工事に伴う負担金を支払いました。 負担金額　1,254,039円 ⑶　愛知用水三好支線水路緊急対策事業負担金 （独）水資源機構が実施する、農業用の水路改修及び三好池の耐震対策工事に伴う負担金を支払いしました。 負担金額　4,950,000円

			年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
5 活動指標	指標名	農業用ため池の管理事業を実施したため池の数	平成 27 年度	箇所 18.00	箇所	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	事業の対象となるため池の数	平成 28 年度	箇所 18.00	箇所	
			平成 29 年度	箇所 18.00	箇所	
			平成 30 年度	箇所 18.00	箇所	

			年　度	実績値	目標値	目標値の設定方法
6 成果指標	指標名	農業用ため池管理事業実施面積	平成 27 年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,115.00	前年度実績
	指標の説明（指標式）	草刈り及び除去の面積	平成 28 年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
			平成 29 年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
			平成 30 年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	4,544,538 円	決　算　額	7,050,139 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	農業土木事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	05	02	−
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1 地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：ー							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	農家及び地域住民
2 働きかける相手(対象)	土地改良区域内にある道路、排水路、農水管
3 どのような状態にしたいのか(意図)	農地の保全及びその利用の高度化のため、農業基盤を整備することにより生産性の高い農業の育成並びに農業経営の合理化及び効率化を図ります。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業土木事業 農水管の埋設位置を確認するための調査を実施しました。 春木字桝池地内 1箇所

5 活動指標		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	土地改良事業実施箇所のうち整備した箇所数	平成 27 年度	0.00 箇所	箇所	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	0.00 箇所	箇所	
		平成 29 年度	0.00 箇所	箇所	
		平成 30 年度	0.00 箇所	箇所	

6 成果指標		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	土地改良事業実施箇所のうち修繕した箇所数	平成 27 年度	1.00 箇所	0.00 箇所	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	1.00 箇所	1.00 箇所	
		平成 29 年度	0.00 箇所	1.00 箇所	
		平成 30 年度	1.00 箇所	1.00 箇所	

7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	294,840 円

Ⅰ．事業の目的体系

1．事　　業　　名	土地改良一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	05	03	－

2．総合計画の施策体系	基本目標：　目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
	基本施策：　1　地産地消により農業の活性化を目指す
	施策の展開方向：　－

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	農業者
2　働きかける相手(対象)	愛知用水東郷利水組合組合員
3　どのような状態にしたいのか（意図）	愛知用水を利用する農業団体並びに農業者と密接な連携を保ち、地区間相互の均衡を図り、また、農業用施設の維持管理や農業経営の円滑化、合理化及び効率化が図られるようにします。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土地改良事業一般事務事業 ⑴　愛知用水の利用について、各地区間の連絡調整を図るため会議を開催し、維持管理の円滑化や合理化などを図るため研修会を実施しました。 ⑵　東郷利水組合に対し、運営費助成金を交付しました。 東郷利水組合運営事業補助金　217,800円 ４月13日　東郷利水組合総会 ６月１日　第１回管理区長会議 ７月６日　第１回研修会（静岡県　長島ダム、おやいづ製茶） ～７日 12月７日　第２回研修会（（独）水資源機構　愛知用水下流管理所　美浜調整池）

5 活動指標			年　　度	実　績　値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	会議、研修会の開催回数	平成 27 年度	5.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	5.00 回	回	
			平成 29 年度	5.00 回	回	
			平成 30 年度	4.00 回	回	

6　直接事業費計	前年度決算額	374,096　円	決　算　額	358,446　円

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	愛知用水二期事業建設負担金償還事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	05	04	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：1　地産地消により農業の活性化を目指す							
	施策の展開方向：　―							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	農業者
2　働きかける相手(対象)	水資源機構、愛知用水土地改良区
3　どのような状態にしたいのか(意図)	農業用水を安定的に供給できるようにします。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	愛知用水二期事業建設負担金償還金事業（償還期間平成17年度から平成33年度まで） 平成30年度の建設事業負担金償還金を1,808,328円支払いました。 (1)　元金分　1,824,470円 (2)　利息分　127,858円 (3)　事務費軽減額　144,000円 (4)　精算支払い額　1,808,328円 (5)　平成30年度末残高　5,662,480円

5 活動指標					
指標名	償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標の説明（指標式）	当該年度に償還した建設負担金元金の額	平成 27 年度	1,734,105.00 円	円	個別計画による目標値はありません。
		平成 28 年度	1,763,718.00 円	円	
		平成 29 年度	1,793,837.00 円	円	
		平成 30 年度	1,824,470.00 円	円	

6　直接事業費計	前年度決算額	1,808,328　円	決算額	1,808,328　円

款	6	農林水産業費	予算現額	362,000 円
項	2	林業費	決算額	185,616 円
目	1	林業振興費	前年度決算額	2,016,840 円
			対前年比	9.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	林業一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：８　安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める							
	施策の展開方向：　－							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、木曽川流域の住民
2 働きかける相手(対象)	町民、銀河の森（2.94ha）、伐採届届出者、森林の土地の所有者届届出者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	森林業が担い手不足や高齢化等の状況にある中、人工林を育てることで林業経営の安定化、森林の公益的機能（おいしい水や空気を供給する機能）の促進を図るとともに、町民の森林・林業に対する理解と協力が促進されるようにします。また、森林の適正な管理状態を維持し、水源の育成に努めます。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	１　林業振興一般事業 ⑴　森林法による伐採届の受付件数　１件 ⑵　森林法による森林の土地の所有者届の受付件数　２件 ２　王滝村分収造林事業 平成30年度の実施分はありません。次の事業実施予定年度は令和３年度です。

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	森林伐採届及び森林の土地の所有者届の受付件数	平成 27 年度	5.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	伐採届の受付件数＋森林の土地の所有者届の受付件数	平成 28 年度	9.00 件	件	
			平成 29 年度	10.00 件	件	
			平成 30 年度	3.00 件	件	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	銀河の森植栽面積	平成 27 年度	2.94 ha	2.94 ha	銀河の森植栽延べ面積
	指標の説明（指標式）	銀河の森植栽延べ面積	平成 28 年度	2.94 ha	2.94 ha	
			平成 29 年度	2.94 ha	2.94 ha	
			平成 30 年度	2.94 ha	2.94 ha	

7 直接事業費計	前年度決算額	11,100 円	決算額	10,000 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	緑化振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	02	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：⑵ 緑化の推進							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	町民（文化産業まつり参加者、小中学校、自治会）
3 どのような状態にしたいのか(意図)	地域における緑化の推進や一般家庭の緑化を促進することにより、町民の緑化に対する意識の向上が図られるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 緑化振興事業 小・中学校９校に緑化・育樹に関するポスター及び標語を募集し、応募者350名に参加賞を配布しました。 2 緑化事業 ⑴ 緑化木配布事業として、文化産業まつりでブルーベリーの苗木を配布しました。（320本） ⑵ 愛知県緑化推進委員会に会費を支出しました。 ⑶ 緑の募金委員会の運営 ア 春期緑の募金運動を平成30年４月１日から５月31日まで実施しました。 募金総額 288,495円 イ 自治会等19団体へ花壇整備等の緑化推進事業に対し助成金を交付しました。

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	緑化木配布本数	平成 27 年度	400.00 本	本	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	緑化木配布事業で配布した本数	平成 28 年度	400.00 本	本	
			平成 29 年度	400.00 本	本	
			平成 30 年度	320.00 本	本	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	町人口100人当たりの募金額	平成 27 年度	605.00 円	653.00 円	過去３年間の平均値
	指標の説明（指標式）	募金総額÷人口×100人人口＝43,541人（H30.5月末時点）	平成 28 年度	812.00 円	628.00 円	
			平成 29 年度	690.00 円	676.00 円	
			平成 30 年度	662.00 円	702.00 円	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,005,740 円	決算額	175,616 円

款	7	商工費	予算現額	23,544,046 円
項	1	商工費	決算額	22,239,137 円
目	1	商工総務費	前年度決算額	23,490,992 円
			対前年比	94.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	商工一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	01	02	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：２ 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致･育成を進める							
	施策の展開方向：—							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	商工業者、職員
2 働きかける相手(対象)	職員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	商工行政全般を円滑に推進できるようにします。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	商工一般事務事業 創業支援説明会、あいちＤＣ説明会等の研修及び関係機関の会議、打合せに参加しました。また、大型商業施設との連携について埼玉県富士見市を視察しました。

5 活動指標					
指標名	研修会、協議会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	回 18.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	回 7.00	回	
		平成 29 年度	回 19.00	回	
		平成 30 年度	回 24.00	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	135,038 円	決算額	197,046 円

款	7	商工費	予算現額	97,443,954 円
項	1	商工費	決算額	92,272,886 円
目	2	商工業振興費	前年度決算額	97,439,643 円
			対前年比	94.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	文化産業まつり開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：５ 地区･世代間の人々の絆を深める交流を推進する							
	施策の展開方向: ⑶ 町民相互の絆を深める							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、事業者
2 働きかける相手(対象)	来場者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	町民の文化創造、町内の産業振興を図るとともに、賑わいとふれあいの場を創出します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

文化産業まつり開催事業
⑴ 開催日時
平成30年11月10日（土）午前10時から午後４時まで
11日（日）午前９時から午後３時まで
⑵ 会場
いこまい館、役場駐車場、役場中庭駐車場、町民会館、総合体育館、ＪＡあいち尾東東郷支店、ふれあい広場
⑶ 来場者数
18,000人
⑷ 駐車場
町民会館西駐車場、町民会館南駐車場、ふれあい広場駐車場、いこまい館東駐車場、東羽根穴駐車場
⑸ シャトルバス
臨時駐車場から役場までの３コース
⑹ 催物
ア 本部 73事業
東郷太鼓、小学校金管バンド部、東郷高校吹奏楽部・ダンス部、バトン発表、似顔絵倶楽部、バンド発表、ららぽーと紹介コーナー、王滝村観光物産展、消防コーナー、露店、フリースペース、軽トラ市等
イ 商工部 45事業
企業パネル展、スタンプラリー抽選会、食品衛生啓発、法人会、愛２ブランド特産品、青年部軽食、青年部ゲーム、コスプレコーナー、廉売市等
ウ 文化部 40事業
芸能大会、囲碁大会、華道展、書道展、俳句展、陶芸展、古文書展、絵画展、水墨展、写真展、絵手紙展、呈茶席、フラワーデザイン、手芸＆和紙、体験コーナー、子ども作品展等
エ 農産部 18事業
中学校吹奏楽、農産物直売、農産物共進会、うどん、パン・りんご・みかん販売、紙芝居等
オ 福祉部 14事業
知障連フリーマーケット、菓子雑貨販売、福祉体験コーナー、バザー等

5 活動指標

指標名	全事業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	166.00 事業	事業	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各部催事の計	平成 28 年度	172.00 事業	事業	
		平成 29 年度	179.00 事業	事業	
		平成 30 年度	190.00 事業	事業	

6 成果指標

指標名	来場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成 27 年度	12,000.00 人	19,000.00 人	第５次総合計画による目標値
指標の説明（指標式）	文化産業まつりの来場者数	平成 28 年度	15,000.00 人	20,000.00 人	
		平成 29 年度	15,000.00 人	20,000.00 人	
		平成 30 年度	18,000.00 人	20,000.00 人	

7 直接事業費計	前年度決算額	4,536,107 円	決算額	4,493,314 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	商工関係事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：－							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	商工業者、東郷町商工会及び町民
2 働きかける相手(対象)	東郷町商工会
3 どのような状態にしたいのか(意図)	商工業者の経営改善等が行われ、商工業の活性化が図られるようにします。また、東郷町商工会所有の街路灯を良好な状態に保ちます。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 商工会運営事業 ⑴ 東郷町商工会から平成30年度の事業報告がありました。 ア 一般会員数 622名 イ 事務局職員数 ９名 ウ 商工会加入率 55.1% エ 経営指導員による指導件数 1,711件 オ 講習会等参加人数 335人 カ 金融斡旋件数 14件 キ 特産品出店実績 中日クラウンズ（名古屋ゴルフ倶楽部）、文化産業まつり（いこまい館）、小牧基地航空祭（小牧基地）、ふるさと市（愛・地球博記念公園） ⑵ 東郷町商工会に対して運営事業費補助金を交付しました。 ア 補助対象経費 経営改善普及事業費 49,327,933円 管理費 17,684,345円 イ 補助金額 22,982,000円 2 商工団体育成事業 東郷町商工会に対して街路灯維持管理費補助金を交付しました。 ⑴ 修繕件数 26件 ⑵ 補助対象経費 434,160円 ⑶ 補助金額 217,000円

			年度	実績値		個別計画、指針等による目標値
5 活動指標	指標名	経営指導員等による指導件数	平成 27 年度	1,809.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
			平成 28 年度	1,298.00 件	件	
	指標の説明（指標式）	経営指導員等による巡回指導、窓口指導した件数	平成 29 年度	1,339.00 件	件	
			平成 30 年度	1,711.00 件	件	

			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
6 成果指標	指標名	一般会員数	平成 27 年度	636.00 人	650.00 人	東郷町商工会の事業計画書に記載された数値
			平成 28 年度	632.00 人	650.00 人	
	指標の説明（指標式）	東郷町商工会に入会している会員数	平成 29 年度	617.00 人	650.00 人	
			平成 30 年度	622.00 人	650.00 人	

7 直接事業費計	前年度決算額	21,068,000 円	決算額	23,199,000 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	小規模企業等振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	03	－
2 総合計画の施策体系	基本目標： 目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策： 2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向： －							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	小規模企業者
2 働きかける相手(対象)	小規模企業者、金融機関
3 どのような状態にしたいのか(意図)	金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者に対し、事業上必要とする資金の融通を円滑にします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小規模企業等振興事業
(1) 小規模企業等振興資金
　ア 制度利用件数
　　30件
　イ 貸付総額
　　130,590,000円
(2) サポート資金（セーフティネット）
　認定件数
　０件
(3) 信用保証料・利子補給補助金
　ア 交付件数及び補助対象経費
　　(ｱ) 小規模企業等振興資金
　　　21件 2,097,657円
　　(ｲ) サポート資金（セーフティネット）
　　　０件 ０円
　　(ｳ) 小規模事業者経営改善資金
　　　５件 203,648円
　イ 補助金額
　　(ｱ) 小規模企業等振興資金
　　　1,076,000円
　　(ｲ) サポート資金（セーフティネット）
　　　０円
　　(ｳ) 小規模事業者経営改善資金
　　　119,000円

5 活動指標

指標名	信用保証料補助金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	円 1,127,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	小規模企業等振興資金及びサポート資金（セーフティネット）の信用保証料補助金	平成 28 年度	円 639,000.00	円	
		平成 29 年度	円 771,000.00	円	
		平成 30 年度	円 1,076,000.00	円	

6 成果指標

指標名	取扱金融機関による貸付金額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成 27 年度	千円 168,980.00	千円 186,010.00	過去３年間実績値の平均値
指標の説明（指標式）	小規模企業等振興資金融資制度に基づく貸付金額	平成 28 年度	千円 50,300.00	千円 159,783.00	
		平成 29 年度	千円 94,190.00	千円 119,940.00	
		平成 30 年度	千円 130,590.00	千円 104,490.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	50,934,000 円	決算額	51,195,000 円

Ⅰ．事業の目的体系

1　事業名	企業立地促進事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	04	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：　目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：　２　町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：　⑵　町内企業の拡張及び新たな産業の誘致・育成							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1　誰のために(受益者)	製造業者
2　働きかける相手(対象)	製造業者
3　どのような状態にしたいのか(意図)	東郷町都市計画マスタープランの既成市街地ゾーン（工業系）及び新市街地候補ゾーン（工業系）に工場を立地させます。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	企業立地促進事業 ⑴　愛知県産業立地ガイドブックへの記事掲載 愛知県産業立地推進協議会が作成する愛知県産業立地ガイドブックへ本町の案内記事を掲載しました。 ⑵　愛知県産業立地推進協議会総会へ参加 ５月31日町長及び産業振興課課長補佐が愛知県産業立地推進協議会総会へ参加しました。 ⑶　企業訪問　９社 開発の意向がある企業や企業立地促進条例の対象となる企業を訪問しました。 ⑷　便宜供与 開発の意向がある企業や企業立地促進条例の対象となる企業に対して、事業所の新設等に伴う手続きの助言及び事業所の新設等を行うために必要な用地確保の協力、その他必要な協力を随時行いました。 ⑸　企業立地促進条例に基づく奨励金の交付 ア　工場等新設促進奨励金　　１社　4,268,000円 イ　工場等増設促進奨励金　　１社　444,000円 ウ　雇用促進奨励金　　２名　300,000円

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	訪問した企業数	平成 27 年度	社 10.00	社	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	開発の意向のある企業や条例の適用となる企業を訪問した数	平成 28 年度	社 4.00	社	
			平成 29 年度	社 5.00	社	
			平成 30 年度	社 9.00	社	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	新しく誘致できた企業数（累計）	平成 27 年度	社 2.00	社 3.00	第５次総合計画による目標値（累計）
	指標の説明（指標式）	企業立地促進条例を適用した企業数（事業数の累計）	平成 28 年度	社 3.00	社 6.00	
			平成 29 年度	社 5.00	社 6.00	
			平成 30 年度	社 5.00	社 6.00	

7　直接事業費計	前年度決算額	6,898,000 円	決算額	5,010,000 円

Ⅰ．事業の目的体系

1　事業名	道の駅構想推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	05	－
2　総合計画の施策体系	基本目標：　目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：　2　町の産業を活性化し、新たな産業の誘致･育成を進める							
	施策の展開方向：　－							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1　誰のために(受益者)	町民、町を訪れる人
2　働きかける相手(対象)	町民、町内主要団体、名古屋国道事務所、愛知県、対話対象者
3　どのような状態にしたいのか(意図)	人口減少の時代において、町が活力を維持し持続的に発展し続け、将来にわたり勝ち残ることができるまちをつくることを目指します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

道の駅構想推進事業

本町は、さらなる産業の振興や地域の活性化を図り、本町が抱えるまちづくりにおける複数の課題解決に寄与することを目指し、道の駅整備に向けた基礎調査を行い、整備の必要性を検討するとともに、それらを踏まえて道の駅のコンセプトや基本方針を取りまとめた検討書を策定してまいりました。

しかし、平成30年５月の町長選挙の結果を受け、本町において道の駅整備が有用であるか見直すこととしました。

⑴　タウンミーティングの開催

本事業の見直しの一環として、全小学校区（６校）において、道の駅をテーマとするタウンミーティングを開催しました。

⑵　アンケート調査の実施

タウンミーティングの開催とあわせて、会場及びインターネットなどで道の駅についてのアンケート調査を実施しました。そこでは、道の駅で解決に寄与する課題と町長が考えるまちの課題との優先順位を問うなど、タウンミーティングでいただいた意見とともに本事業について判断する際の参考とすることとしました。

⑶　本事業の結論の判断

本事業については、町長選挙の結果やタウンミーティング、アンケート調査による町民の声、また、東郷町「道の駅」建設構想の即時中止を求める要望書(署名数940名)が提出されたことを含め総合的に判断した結果、中止としました。

5　活動指標

項目	内容	年度	実績値		個別計画、指針等による目標値
指標名	道の駅基本計画策定委託業務における業務打合回数	平成 27 年度	回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	道の駅基本計画の策定に向けた業務打合回数	平成 28 年度	回 9.00	回	
		平成 29 年度	回 13.00	回	
		平成 30 年度	回 2.00	回	

6　成果指標

項目	内容	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	東郷町道の駅検討委員会の開催回数	平成 27 年度			個別計画における目標値はありません。
指標の説明（指標式）	道の駅整備に向けて開催した検討委員会の開催回数	平成 28 年度	4.00		
		平成 29 年度	3.00		
		平成 30 年度	0.00		

7　直接事業費計	前年度決算額	14,003,536　円	決算額	8,375,572 円

款	8	土木費	予算現額	98,309,220 円
項	1	土木管理費	決算額	95,556,409 円
目	1	土木総務費	前年度決算額	95,413,000 円
			対前年比	100.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	土木行政一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	01	01	02	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：６　安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：－							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	町民
2　働きかける相手(対象)	職員、関係団体、町道等
3　どのような状態にしたいのか(意図)	土木関係事務を適切かつ効率的に処理するとともに、関係団体又は関係機関との連絡調整を行い、円滑に事務を行います。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

土木一般管理事務事業
- ⑴　道路等事務関係消耗品及び設計関係の消耗品を購入しました。
- ⑵　道路照明灯の電気料を支出しました。
- ⑶　公共用地価格審査会を２回開催しました。
- ⑷　土木積算システムの改定業務を委託しました。
- ⑸　愛知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会に公共嘱託登記事務を委託しました。
- ⑹　雨水貯留タンクの設置費の一部を補助しました。　３件
- ⑺　各種協議会等の総会又は研修会に参加し、負担金を支出しました。
- ⑻　道路等用地境界査定、道路等占用許可申請、承認工事許可申請等の審査事務を707件行いました。
  - ア　境界確認申請　155件
  - イ　道路占用許可申請　406件
  - ウ　道路承認工事申請　76件
  - エ　河川占用許可申請　14件
  - オ　公共用物使用許可申請　７件
  - カ　公共用物承認工事申請　17件
  - キ　雨水浸水阻害行為許可申請　19件
  - ク　後退用地に関する事前協議　13件

5　活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	町道等の境界立会申請、占用、承認工事申請等の受理件数	平成 27 年度	680.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	802.00 件	件	
		平成 29 年度	828.00 件	件	
		平成 30 年度	707.00 件	件	

6　直接事業費計	前年度決算額	14,703,476 円	決算額	13,611,330 円

款	8	土木費	予算現額	148,950,000 円
項	2	道路橋りょう費	決算額	147,774,027 円
目	1	道路維持費	前年度決算額	123,038,225 円
			対前年比	120.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	道路維持管理事業	ｺｰﾄﾞ 01	08	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち						
	基本施策：６ 安心して通行できる道路網を整備する						
	施策の展開方向： ―						

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人
2 働きかける相手(対象)	道路
3 どのような状態にしたいのか(意図)	道路の機能を適正に維持することにより、車両、歩行者等の通行の円滑化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

道路維持管理事業
- ⑴ 道路維持管理用消耗品を購入しました。
草刈り機替刃、チェーンソー替刃等
- ⑵ 道路維持管理用備品を修理しました。
道路パトロールカー、道路維持作業車等
- ⑶ 道路台帳補正作業業務を委託し、道路台帳を整備しました。
補正　4.90ｋｍ、台帳製本　１部（２冊分）
- ⑷ 町道愛知池線外12路線の道路施設維持管理業務を委託しました。
除草、芝生刈込、剪定
- ⑸ 道路維持修繕工事、舗装修繕工事及び側溝整備工事を実施しました。
側溝工事　805.2m
舗装工事　1,591.7m
- ⑹ 道路補修用資材を購入しました。
コンクリート蓋、再生砕石、常温・加熱合材、凍結防止剤等
- ⑺ 道路維持管理用備品を購入しました。
草刈り機　１台、高枝チェーンソー　１台等
- ⑻ 雨水管調査業務を委託しました。
Ｌ＝1,059.5m　（白鳥地区）
- ⑼ 雨水排水区域調査業務を委託しました。
Ａ＝20ha　（春木台地区）
- ⑽ 交通量調査業務を委託しました。
交差点Ｎ＝９箇所　（諸輪地区）

5 活動指標		年度	実績値		個別計画、指針等による目標値
指標名	道路施設修繕、整備延長	平成 27 年度	2,091.00 m	m	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	2,741.00 m	m	
		平成 29 年度	3,011.40 m	m	
		平成 30 年度	2,396.90 m	m	

6 成果指標		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	工事発注件数	平成 27 年度	34.00 件数	33.00 件数	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	42.00 件数	31.00 件数	
		平成 29 年度	38.00 件数	37.00 件数	
		平成 30 年度	45.00 件数	38.00 件数	

7 直接事業費計	前年度決算額	123,038,225 円	決算額	147,774,027 円

款	8	土木費	予算現額	412,955,819 円
項	2	道路橋りょう費	決算額	308,597,001 円
目	2	道路新設改良費	前年度決算額	326,000,011 円
			対前年比	94.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

１ 事業名	道路新設改良事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	02	01	－
２ 総合計画の施策体系	基本目標 ： 目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策 ： ６ 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向： ⑶ 暮らしやすい道路の形成							

Ⅱ．(Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人
2 働きかける相手(対象)	道路
3 どのような状態にしたいのか（意図）	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。

４ 評価対象年度にどのようなことを実施したのか			
工事・路線名	和合ケ丘・新池線	上針廻間１号線	和合春木線
工事期間	平成 28年度～令和 元年度	平成 29 年度～令和 元年度	平成30 年度～ 平成30 年度
全体工事概要	工事延長 Ｌ＝460.0m 北工区 Ｌ＝280.0m 南工区 Ｌ＝180.0m 用地取得地権者 29名 物件移転補償対象 20名	用地取得地権者 ５名 取得面積 1,109.96㎡	用地取得地権者 １名 物件移転補償対象 １名 取得面積 73.65㎡
評価年度の実施内容	工事延長 北工区 Ｌ＝258.0m 用地取得地権者 ２名 物件移転補償対象 １名	用地取得地権者１名（残１名） 取得面積6.7㎡	不動産鑑定 用地取得地権者 １名 物件移転補償対象 １名 取得面積 73.65㎡
予定全体事業量 [A]	460.00m	1,109.96 ㎡	73.65 ㎡
評価年度までの事業量 [Σa]	258.00m	1,035.16 ㎡	73.65 ㎡
事業量の進捗率 [Σa/A]	56.1％	93.3％	100％
予定全体直接事業費 [B]	614,770,146 円	68,164,567 円	17,786,299 円
評価年度までの直接事業費 [Σb]	449,422,082 円	63,698,287 円	17,786,299 円
事業費の進捗率 [Σb/B]	73.1％	93.4％	100％
評価年度の事業量 [a]	258.00m	6.78 ㎡	73.65 ㎡
評価年度の直接事業費 [b]	186,363,012 円	203,600 円	17,786,299 円
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	722,337 円	30,029 円	241,498 円

5 直接事業費計	前年度決算額	326,000,011 円	決算額	308,597,001 円

Ⅰ. 事業の目的体系

1 事　業　名	道路新設改良事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：⑶ 暮らしやすい道路の形成							

Ⅱ. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)		道路を利用する人		
2 働きかける相手(対象)		道路		
3 どのような状態にしたいのか(意図)		地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東蚊谷通学路兼避難路	白土涼松地区計画（道路14号）	調整池築造工事
	工事期間	平成 29年度～平成 30年度	平成 29年度～ 令和 2年度	平成28 年度～ 令和元 年度
	全体工事概要	工事延長　Ｌ＝52.5m 側溝工　Ｌ＝52.5m 擁壁工　Ｌ＝16.0m 舗装工　Ａ＝177.1㎡ 用地取得地権者　1名 物件移転補償対象　1名 取得面積　6.97㎡	用地取得地権者　4名 物件移転補償対象　4名 取得面積　453.44㎡ 擁壁詳細設計業務　一式 土地評価等調査業務　一式	調整池面積　Ａ＝2,382㎡ 用地取得地権者　4名 取得面積　2,382㎡
	評価年度の実施内容	工事延長　Ｌ＝52.5m 側溝工　Ｌ＝52.5m 擁壁工　Ｌ＝16.0m 舗装工　Ａ＝177.1㎡ 用地取得地権者　1名 取得面積　6.97㎡	工事延長　Ｌ＝32.5m 補強土壁基礎工　Ｌ＝32.5m	調整池築造工事　Ａ＝738㎡
	予定全体事業量 [A]	6.97 m	69.00 m	2,382.00 ㎡
	評価年度までの事業量 [Σa]	6.97 m	32.50 m	738.00 ㎡
	事業量の進捗率 [Σa/A]	100 %	47.1 %	31 %
	予定全体直接事業費 [B]	962,253 円	141,320,000 円	152,668,235 円
	評価年度までの直接事業費 [Σb]	962,253 円	71,959,091 円	83,996,900 円
	事業費の進捗率 [Σb/B]	100%	50.9%	55%
	評価年度の事業量 [a]	6.97 m	32.50 m	738.00 ㎡
	評価年度の直接事業費 [b]	581,995 円	59,102,990 円	39,936,920 円
	事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	83,500 円	1,818,554 円	54,115 円
5 直接事業費計		前年度決算額　326,000,011 円	決算額　308,597,001 円	

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	道路新設改良事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：⑶ 暮らしやすい道路の形成							

Ⅱ．(Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)		道路を利用する人		
2 働きかける相手(対象)		道路		
3 どのような状態にしたいのか(意図)		地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	南蚊谷6号線	その他	
	工事期間	平成 30年度～令和 2 年度	平成 30 年度～平成 30 年度	年度～ 年度
	全体工事概要	用地取得地権者 7名 物件移転補償対象 4名	公嘱 清水ケ根始め４件	
	評価年度の実施内容	物件補償調査 486,000円 土地評価 496,800円 不動産鑑定 486,000円	公嘱 清水ケ根始め４件	
	予定全体事業量 [A]	353.79 ㎡	m	m
	評価年度までの事業量 [Σa]	㎡	m	m
	事業量の進捗率 [Σa/A]	%	%	%
	予定全体直接事業費 [B]	円	円	円
	評価年度までの直接事業費 [Σb]	1,468,800 円	円	円
	事業費の進捗率 [Σb/B]	%	%	%
	評価年度の事業量 [a]	㎡	m	m
	評価年度の直接事業費 [b]	1,468,800 円	3,153,385 円	円
	事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	円	円	円
5 直接事業費計		前年度決算額 326,000,011 円	決算額 308,597,001 円	

款	8	土木費	予算現額	36,331,710 円
項	2	道路橋りょう費	決算額	36,319,320 円
目	3	橋りょう維持費	前年度決算額	34,277,040 円
			対前年比	106 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	橋りょう維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：６ 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：　－							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	橋を利用する人
2 働きかける相手(対象)	橋りょう施設
3 どのような状態にしたいのか(意図)	橋の機能を適正に維持することにより、安全に通行できる状態を保ちます。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	橋りょう維持管理事業 ⑴ 橋りょう点検調書作成委託業務を委託しました。 25橋（仁登橋外24橋） ⑵ 橋りょう修繕設計委託業務を委託しました。 １橋（郡界橋） ⑶ 橋りょう補修工事を実施しました。 １橋（仲田橋）

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	業務委託件数	平成 27 年度	2.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	2.00 件	件	
			平成 29 年度	2.00 件	件	
			平成 30 年度	2.00 件	件	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	点検率	平成 27 年度	15.10 %	100.00 %	５年間（H26年度からH30年度まで）での点検率（100%）
	指標の説明（指標式）	（当該年度までの点検橋梁数／点検を必要とする橋梁数（86橋））×100	平成 28 年度	25.60 %	100.00 %	
			平成 29 年度	76.70 %	100.00 %	
			平成 30 年度	100.00 %	100.00 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	34,277,040 円	決算額	36,319,320 円

款	8	土木費	予　算　現　額	11,390,000 円
項	2	道路橋りょう費	決　算　額	11,279,520 円
目	4	交通安全対策事業費	前年度決算額	12,444,400 円
			対　前　年　比	90.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	交通安全施設対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：６　安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：　－							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人
2 働きかける相手(対象)	道路
3 どのような状態にしたいのか(意図)	道路を利用する人及び車両の安全を確保し、通行の円滑化を図ります。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	１　交通安全対策一般事務事業 春木台小学校区で交通安全総点検を実施しました。 ２　交通安全施設整備事業 ⑴　道路照明灯等の維持修繕業務を実施しました。 ア　道路照明灯の支柱取替え　１基 イ　北山台地下横断道の蛍光灯交換　31本 ウ　永井田地下横断道の蛍光灯交換　16本 エ　東郷５号函渠の蛍光灯交換　38本 ⑵　交通安全施設工事を実施しました。 ア　区画線　3,649.3m イ　防護柵　83.8m ウ　道路反射鏡　４基 エ　道路標識　１か所 オ　カラー塗装　388.6㎡

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	区画線、防護柵等施工延長	平成 27 年度	m 2,223.00	m	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明(指標式)		平成 28 年度	m 1,848.00	m	
			平成 29 年度	m 6,644.60	m	
			平成 30 年度	m 3,733.10	m	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	交通安全施設整備箇所数	平成 27 年度	箇所 54.00	箇所 84.00	過去３年間の平均値
	指標の説明(指標式)	区画線、防護柵、反射鏡等の設置箇所数（路線・交差点）	平成 28 年度	箇所 20.00	箇所 91.00	
			平成 29 年度	箇所 146.00	箇所 52.00	
			平成 30 年度	箇所 80.00	箇所 74.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	12,444,400 円	決　算　額	11,279,520 円

款	8	土木費	予　算　現　額	5,828,000 円
項	3	河川費	決　　算　　額	5,789,880 円
目	1	河川維持改修費	前年度決算額	48,718,020 円
			対　前　年　比	11.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	河川維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	03	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：3 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：⑸ 河川の治水機能強化と施設の維持管理							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	周辺の住民
2 働きかける相手(対象)	河川施設
3 どのような状態にしたいのか(意図)	施設の機能及び景観を良好な状態にします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

河川維持管理事業
　河川の除草及び剪定を実施しました。
⑴ 春木川
　堤防除草　6,351㎡×２回
　護岸除草　2,913㎡×１回
　低木剪定工　54㎡×１回
⑵ 西の川
　堤防除草　3,073㎡×１回
⑶ 小口川
　堤防除草　2,784㎡×２回
　　　　　　7,311㎡×１回
　護岸除草　4,156㎡×１回

5 活動指標

項目	内容	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	施設の維持管理作業の延べ面積	平成 27 年度	㎡ 46,078.00	㎡	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	除草、剪定作業	平成 28 年度	㎡ 42,912.00	㎡	
		平成 29 年度	㎡ 39,810.00	㎡	
		平成 30 年度	㎡ 35,777.00	㎡	

6 成果指標

項目	内容	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	景観が良好な状態の月数	平成 27 年度	月 6.00	月 12.00	年間月数
指標の説明（指標式）	作業３河川の内、身近な春木川を対象とした。	平成 28 年度	月 6.00	月 12.00	
		平成 29 年度	月 6.00	月 12.00	
		平成 30 年度	月 6.00	月 12.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	5,673,240 円	決　算　額	5,789,880 円

款	8	土木費	予　算　現　額	13,050,000 円
項	3	河川費	決　算　額	13,022,640 円
目	2	排水路改修費	前年度決算額	6,295,320 円
			対　前　年　比	206.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	排水路改修事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	03	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：３　災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：⑸　河川の治水機能強化と施設の維持管理							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	排水路
3 どのような状態にしたいのか(意図)	施設の老朽化に伴う通水疎外の解消を進めるとともに、新規排水施設の整備により適正な排水機能を確保します。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	排水路改修事業 ⑴　排水路整備工事を実施しました。 ア　桝池排水路　24.0m イ　中ノ杁排水路　66.0m ウ　知々釜排水路　47.0m ⑵　排水路浚渫工事を実施しました。 ア　知々釜排水路　100.0m ⑶　東郷町工業団地内の調整池の浚渫を実施しました。

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	排水路整備延長	平成 27 年度	m 157.90	m	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	m 187.10	m	
			平成 29 年度	m 1,373.50	m	
			平成 30 年度	m 237.00	m	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	通水疎外部分の解消箇所	平成 27 年度	箇所 9.00	箇所 11.00	過去３年間の平均値
	指標の説明（指標式）	排水路浚渫箇所、排水路整備箇所	平成 28 年度	箇所 11.00	箇所 12.00	
			平成 29 年度	箇所 7.00	箇所 11.00	
			平成 30 年度	箇所 6.00	箇所 9.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	6,295,320 円	決算額	13,022,640 円

款	8	土木費	予　算　現　額	61,986,127 円
項	4	都市計画費	決　算　額	60,736,602 円
目	1	都市計画総務費	前年度決算額	52,782,087 円
			対　前　年　比	115.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1．事　業　名	都市計画一般管理事業	ｺｰﾄﾞ 01	08	04	01	02	－

2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
	基本施策：3　魅力ある市街地を整備する
	施策の展開方向：　―

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	町民及び窓口サービス利用者
2　働きかける相手(対象)	町職員、関係機関、愛知県都市計画協会及び愛知県街路事業促進協議会
3　どのような状態にしたいのか(意図)	内部事務を適切かつ効率的に処理し、関係課及び関係機関との連絡調整を行い、都市計画事業を円滑に運営します。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	都市計画関係一般事務事業 ⑴　地区計画の区域内における行為の届出 審査件数　55件 ⑵　都市計画基本図のコピー、都市計画図等の販売 件数　539件 ⑶　愛知県都市計画協会負担金を支出し、先進地の視察の実施及び都市計画の調査研究に努めました。 ⑷　愛知県街路事業促進協議会負担金を支出し、未整備区間のある都市計画道路整備に関する要望、陳情等を実施しました。

5 活動指標			年　度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	都市計画基本図のコピー及び都市計画図売払件数	平成 27 年度	件 497.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	件 531.00	件	
			平成 29 年度	件 611.00	件	
			平成 30 年度	件 539.00	件	

6　直接事業費計	前年度決算額	148,521 円	決　算　額	862,868 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	都市計画調査決定事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	01	03	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：３ 魅力ある市街地を整備する							
	施策の展開方向：⑴ 秩序あるまちの形成							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人
2 働きかける相手(対象)	関係機関職員、町都市計画審議会委員、地区まちづくり団体及び町民
3 どのような状態にしたいのか(意図)	健全で秩序あるまちづくりを目指し、土地利用のあり方や道路・公園の整備等について計画を策定することにより、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを誘導します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

都市計画調査決定事業
⑴ 都市計画基礎調査
５年サイクルの３年目として、町で実施する調査項目として次の１項目を実施しました。
ア 建物利用現況
イ 地区別新築状況
⑵ 立地適正化計画策定業務
ア 庁内関係部署の職員による庁内会議を開催しました。（H30．６．29、H30．10．３、H31．１．７ 計３回）
イ 有識者等による検討委員会を開催しました。（H30．８．３ H30．11．１ H31．２．８ 計３回）
ウ 居住誘導区域や都市機能誘導区域の検討を行いました。
エ 計画の目標値や評価方法について検討を行いました。
オ 計画の策定に当たりパブリックコメントを２回実施しました。（H30．９月、H30．12月）
カ 計画の策定に当たり都市計画審議会を開催しました。（H31．２．６）
キ 立地適正化計画を策定し、公表しました。（H31．３．31公表）
⑶ 都市計画マスタープラン策定業務
ア 有識者等による検討委員会を立ち上げ、第１回検討委員会を開催しました。（H31．１．８）
イ 都市計画基礎調査等の基礎資料の収集分析を行いました。
ウ まちづくりに関する住民意向調査のアンケートを実施しました。
エ 他部署の業務に関する計画等の進捗状況を調査しました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	会議への出席回数	平成 27 年度	回 4.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	都市計画関係の会議への出席回数	平成 28 年度	回 10.00	回	
		平成 29 年度	回 9.00	回	
		平成 30 年度	回 11.00	回	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	愛知県都市計画基礎調査委託業務項目数	平成 27 年度	項目 0.00	項目	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	愛知県都市計画基礎調査における町で実施した調査項目数	平成 28 年度	項目 2.00	項目	
		平成 29 年度	項目 2.00	項目	
		平成 30 年度	項目 1.00	項目	

7 直接事業費計	前年度決算額	8,889,137 円	決算額	11,834,407 円

Ⅰ．事業の目的体系

1　事業名	建築指導事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	01	04	－

2　総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
	基本施策：５ 美しい街並み景観のあるまちをつくる
	施策の展開方向：⑴ 住宅地の街並み形成

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1　誰のために(受益者)	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人
2　働きかける相手(対象)	宅地造成事業及び住宅等建設事業を施行する人
3　どのような状態にしたいのか(意図)	秩序あるまちづくりを図るとともに、町民の快適な生活環境の確保に努めます。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

建築確認関係事業
⑴　都市計画法、宅地造成等規制法、建築基準法等の許認可申請の受付事務
　ア　開発行為許可申請　12件
　イ　建築物の新築等許可申請　12件
　ウ　宅地造成に関する工事の許可申請　９件
　エ　建築計画通知・仮使用検査　１件
　オ　建設リサイクル届　118件
⑵　屋外広告物に関する事務
　ア　許可申請　15件
　イ　違反広告物の簡易除却　７件
⑶　宅地開発、建築事業計画の指導事務
　ア　開発行為及び土地利用の調整に関する条例（H30.４.１施行）に基づく事前協議の審査事務　30件
　イ　建築基準法道路の指定状況の問い合わせの際に使用する地図を更新しました。
⑷　建築指導
　愛知県尾張建設事務所の担当職員と建築に関する相談、検査等を実施しました。（71件）
⑸　空き家対策事務
　ア　愛知県司法書士会と空家等対策に関する協定を締結しました。（平成30年12月21日）
　イ　被相続人居住者家屋等確認書の交付　２件
　ウ　空家等に関する必要な措置を適切に講ずるため東郷町空家等対策会議を設置し、会議を１回開催しました。（H31.３.19）
　エ　空き家の疑いのある建物の所有者へ適正管理を依頼する文書を送付しました。（25件）

5　活動指標

指標名	会議への出席回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標の説明（指標式）	建築指導事業関係の会議への出席回数	平成 27 年度	7.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
		平成 28 年度	4.00 回	回	
		平成 29 年度	9.00 回	回	
		平成 30 年度	11.00 回	回	

6　成果指標

指標名	許認可受付件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標の説明（指標式）	許認可申請等の受付処理件数	平成 27 年度	127.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
		平成 28 年度	147.00 件	件	
		平成 29 年度	191.00 件	件	
		平成 30 年度	197.00 件	件	

7　直接事業費計	前年度決算額	767,575 円	決算額	912,060 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	耐震化促進事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	01	05	－
2 総合計画の施策体系	基本目標： 目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策： ３ 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向： ⑴ 安心できる住宅の整備							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	地域住民
2 働きかける相手(対象)	旧耐震基準の家屋を所有する者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	災害に強い街づくりを図るとともに、町民の安全な生活環境の確保に努めます。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	耐震化促進事業 ⑴ 民間木造住宅耐震診断（無料）を実施しました。（26件） ⑵ 民間木造住宅耐震改修費の補助を実施しました。（４件） ⑶ 民間ブロック塀等撤去費の補助を実施しました。（８件） ⑷ 総合防災訓練で、木造住宅倒壊模型等を展示し、缶バッジを配布して、耐震診断及び耐震改修を啓発しました。 ⑸ 重点的に耐震化を促進する区域の一つである白土・西白土地区の旧耐震基準の木造住宅の所有者に対し、個別に郵送による案内を送付し、同地区に回覧をしました。（対象者449件） ⑹ 役場ロビーにおいて、耐震シェルターの展示を行いました。（H30.12.３～H31.１.９）

5 活動指標		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	木造住宅耐震診断の件数	平成 27 年度	件 19.00	件 17.00	過去３年間の実績値の平均
指標の説明（指標式）	旧耐震基準の民間木造住宅に対し町の無料耐震診断を実施した件数	平成 28 年度	件 26.00	件 16.00	
		平成 29 年度	件 24.00	件 19.00	
		平成 30 年度	件 26.00	件 23.00	

6 成果指標		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	木造住宅耐震改修補助の件数	平成 27 年度	件 8.00	件 8.00	過去３年間の実績値の平均
指標の説明（指標式）	旧耐震基準の民間木造住宅の耐震改修工事に対して補助金を交付した件数	平成 28 年度	件 3.00	件 7.00	
		平成 29 年度	件 3.00	件 5.00	
		平成 30 年度	件 4.00	件 5.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	3,829,870 円	決算額	6,156,140 円

款	8	土木費	予　算　現　額	90,454,000 円
項	4	都市計画費	決　　算　　額	88,832,729 円
目	2	公園緑地費	前年度決算額	97,927,037 円
			対　前　年　比	90.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事　業　名	公園緑地等維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：４ 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：⑴ 公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	公園利用者
2 働きかける相手(対象)	公園施設
3 どのような状態にしたいのか(意図)	公園施設を適正に維持管理することにより、町民に安全で、かつ、快適な憩いの場を提供します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　都市公園緑地維持管理事業
⑴　公園、緑地の維持管理を次のとおり実施しました。
　ア　都市公園・緑地　35か所
　イ　親水公園、ふれあい広場　２か所
　ウ　児童遊園　８か所
　エ　ちびっこ広場　９か所
　オ　その他公園・緑地　30か所
⑵　定期的な維持管理として、除草・樹木剪定作業、園内のゴミ清掃、トイレ清掃、浄化槽の保守点検、遊具の安全点検等を行いました。
⑶　電気及び上下水道の使用料、うしばさん公園を始め５公園の用地借地料を支払いました。
⑷　遊具、水のみ場等の公園施設は、老朽した部分又はいたずらによる破損箇所などの修繕を行いました。
⑸　交通児童遊園は地元老人クラブ、涼松緑道は愛知豊川用水振興協会、ふれあい広場及び桝池親水公園は指定管理者により施設の維持管理を行いました。
⑹　公園愛護会21団体（複数の公園で活動する団体があります。）に報償金を支払い、23か所の公園の愛護活動を行っていただきました。

2　公園緑地管理一般事務事業
　県が実施する公園緑地行政研究会に６回参加しました。

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	維持管理した都市公園、緑地等の面積（ha）	平成 27 年度	28.41 ha	ha	個別計画による目標値はありません。
			平成 28 年度	28.41 ha	ha	
	指標の説明（指標式）	都市計画公園・緑地等計85か所	平成 29 年度	28.46 ha	ha	
			平成 30 年度	28.46 ha	ha	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	管理公園における苦情要望等の１件当たりの面積（㎡/件）	平成 27 年度	3,738.00 ㎡/件	3,191.00 ㎡/件	過去３年間の実績値の平均値
	指標の説明（指標式）	維持管理公園面積〔28.46ha〕÷（要望＋苦情件数）〔43件〕値が大きいほど適正に管理されている	平成 28 年度	3,157.00 ㎡/件	3,593.00 ㎡/件	
			平成 29 年度	4,447.00 ㎡/件	3,594.00 ㎡/件	
			平成 30 年度	6,618.00 ㎡/件	3,780.00 ㎡/件	

7 直接事業費計	前年度決算額	93,163,187 円	決　算　額	84,080,693 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事　業　名	公園緑地築造事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	02	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：４ 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：⑴ 公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理							

Ⅱ．(Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	地域住民及び公園利用者
2 働きかける相手(対象)	公園施設等
3 どのような状態にしたいのか(意図)	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図れる。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか			
工事・路線名	牛廻間地区計画公園４号（用地取得）		
工事期間	平成 27年度～令和 2 年度	年度～　年度	年度～　年度
全体工事概要	用地取得　289.55㎡・平成27年度取得（土地開発公社）・公社買戻し（５年償還）		
評価年度の実施内容	用地取得　57.9㎡　（累計202.7㎡）		
予定全体事業量 [A]	289.55 ㎡		
評価年度までの事業量 [Σa]	202.70 ㎡		
事業量の進捗率 [Σa/A]	70％	％	％
予定全体直接事業費 [B]	23,785,164 円	円	円
評価年度までの直接事業費 [Σb]	16,689,260 円	円	円
事業費の進捗率 [Σb/B]	70.2％	％	％
評価年度の事業量 [a]	57.90 ㎡		
評価年度の直接事業費 [b]	4,752,036 円	円	円
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	82,073 円	円	円

5　直接事業費計	前年度決算額	4,763,850 円	決算額	4,752,036 円

款	8	土木費	予算現額	484,953,653 円
項	4	都市計画費	決算額	402,167,825 円
目	3	開発事業費	前年度決算額	160,154,291 円
			対前年比	251.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	開発推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	03	02	－

2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
	基本施策：3 魅力ある市街地を整備する
	施策の展開方向：⑵ 中心核の形成

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
2 働きかける相手(対象)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
3 どのような状態にしたいのか(意図)	経済動向に左右されることなく、時代の変化に合わせた実現性の高い土地利用を展開し、地区を一体的に整備することにより、快適で活気あふれるまちになるようにします。また、集約型都市構造への転換を目指し、魅力ある「まちの中心核」の形成を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 開発事業一般事務事業
- ⑴ 愛知県土地区画整理組合連合会の研修会等に４回参加しました。
- ⑵ 尾東土地区画整理事務研究協議会の研修会等に３回参加しました。
- ⑶ 公益財団法人愛知県都市整備協会の研修会に１回参加しました。
- ⑷ まちづくりを円滑に推進するため、県等関係機関との連絡・調整を行うとともに、まちづくりに関する相談に対応しました。
- ⑸ 土地区画整理事業地内の建築行為に係る土地区画整理法第76条に基づく許可事務を行いました。

2 東郷町まちづくり推進事業
- ⑴ 土地区画整理事業への技術的支援
  - ア 東郷中央土地区画整理事業
    - ㈠ 組合が開催する総代会、役員会、委員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。
    - ㈡ 組合が発注する工事等の設計・積算等に対し指導を行いました。
  - イ 東郷和合知々釜土地区画整理事業
    - ㈠ 組合が開催する総会、役員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。
    - ㈡ 仮換地の指定に係る縦覧手続き等を行いました。
- ⑵ 社会資本整備総合交付金事業
  - ア 都市計画道路建設負担金
    東郷中央土地区画整理組合が施工する都市計画道路名古屋春木線に係る補助金の一部を負担しました。
    負担額　111,287,500円（町負担割合　2.5/10）
  - イ 東郷町土地区画整理事業助成金
    同要綱に基づき、東郷中央土地区画整理組合に対し助成しました。
    助成額　350,000,000円（翌年度繰越額　82,500,000円）
- ⑶ 東郷町エコまちづくり計画の推進
  本計画を推進するため、計画に掲げる導入メニューの実現に向けた調査・検討を行うとともに、計画の進捗管理を行いました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	東郷中央土地区画整理組合の各種会議への出席回数	平成 27 年度	25.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	東郷中央土地区画整理組合が開催した各種会議や説明会等への町職員の出席回数	平成 28 年度	60.00 回	回	
		平成 29 年度	53.00 回	回	
		平成 30 年度	56.00 回	回	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	事業進捗率	平成 27 年度	2.70 %	4.80 %	事業計画の年度別資金計画を目標値としました。
指標の説明（指標式）	東郷中央土地区画整理事業の事業進捗率　累積事業費／総事業費×100	平成 28 年度	10.90 %	10.20 %	
		平成 29 年度	33.10 %	12.90 %	
		平成 30 年度	56.00 %	20.10 %	

7 直接事業費計	前年度決算額　131,798,321 円	決算額	379,182,077 円

款	8	土木費	予算現額	466,712,000 円
項	5	下水道費	決算額	466,712,000 円
目	1	下水道整備費	前年度決算額	469,636,000 円
			対前年比	99.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1. 事業名	下水道事業特別会計繰出金事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	05	01	01	－
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ　産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：8　安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める							
	施策の展開方向：　ー							

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1　誰のために(受益者)	公共下水道区域内の町民
2　働きかける相手(対象)	下水道事業特別会計
3　どのような状態にしたいのか(意図)	東郷町下水道事業特別会計における財源の不足分を一般会計から補い、下水道事業を計画どおり進めます。
4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか	下水道事業特別会計繰出金 下水道事業費の財源について、当該事業に充てられる国庫補助金、地方債、受益者負担金、下水道使用料その他の歳入以外の財源を一般会計から繰り出しました。

5 活動指標			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
	指標名	繰出金額	平成 27 年度	円 470,709,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		平成 28 年度	円 460,549,000.00	円	
			平成 29 年度	円 469,636,000.00	円	
			平成 30 年度	円 466,712,000.00	円	

6　直接事業費計	前年度決算額	469,636,000　円	決算額	466,712,000　円

款	9	消防費	予算現額	539,766,000 円
項	1	消防費	決算額	539,766,000 円
目	1	常備消防費	前年度決算額	546,868,000 円
			対前年比	98.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1．事業名	尾三消防組合負担金事業	ｺｰﾄﾞ 01	09	01	01	01	－
2．総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち						
	基本施策：1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する						
	施策の展開方向：(1) 消防・救急体制の強化						

Ⅱ．(Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民、事業所、町内一時滞在者
2 働きかける相手(対象)	尾三消防組合
3 どのような状態にしたいのか(意図)	消防・救急等の消防力の強化を図り、町民の生命、身体、財産を守ります。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	尾三消防組合負担金事業 尾三消防組合に対し、負担金を支出しました。

5 活動指標		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	尾三消防組合負担金額	平成 27 年度	千円 538,264.00	千円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	千円 546,567.00	千円	
		平成 29 年度	千円 546,868.00	千円	
		平成 30 年度	千円 539,766.00	千円	

6 直接事業費計	前年度決算額	546,868,000 円	決算額	539,766,000 円

款	9	消防費	予算現額	28,372,000 円
項	1	消防費	決算額	25,099,918 円
目	2	非常備消防費	前年度決算額	28,334,300 円
			対前年比	88.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	消防団運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する							
	施策の展開方向：⑵ 消防団員の資質向上							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	各種災害の被災者
2 働きかける相手(対象)	消防団員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	消防団員の資質及び機動力の向上を図るとともに、団員を確保し、地域における防災体制を整えます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　消防団運営事業
⑴　東郷町消防団の組織（平成30年４月１日現在）
ア　団長　１名、副団長　２名
イ　分団員数　㋐ 諸輪分団　34名　㋑ 和合分団　19名　㋒ 傍示本分団　26名　㋓ 祐福寺分団　20名
㋔ 部田分団　23名　㋕ 白土分団　14名　計136名（団長・副団長を含まない）
⑵　会議、研修会等
ア　正副分団長会議を毎月１回開催し、活動内容の確認、出動状況及び情報交換を実施しました。
イ　６月９日～６月10日に役員県外研修を実施しました。（研修先　静岡県）
⑶　各種訓練、点検活動等
ア　４月８日　基本訓練　参加団員35名
イ　６月３日　水防訓練　参加団員40名
ウ　11月25日　総合防災訓練　参加団員28名
エ　12月27日～30日　年末特別警戒（地区全域）
オ　１月13日　消防出初観閲式　参加団員33名
カ　１月27日　文化財防火訓練（春日社（部田））参加団員30名
キ　２月16日　林野火災訓練（富士浅間神社）　参加団員29名
ク　３月10日　町消防団入退団式　入団者０名、退団者８名
ケ　毎月１回　無線試験、放水訓練及び資機材等点検
コ　５月～７月　消防水利点検（地区及び女性防災クラブと合同で実施）
サ　９月～11月　消防用ホース耐圧試験
⑷　火災風水害等に伴う出動
家屋火災等に伴う出動　３件　64名
災害に伴う出動（９月４日　台風21号）　１件　12名
⑸　その他の活動等
各地区で開催された夏祭り、文化産業まつり、防災訓練及び尾張地区消防大会に参加しました。
2　町消防操法大会運営事業
５月27日開催の東郷町消防操法大会に６分団が出場し、傍示本分団が優勝しました。
3　愛知県消防操法大会出場事業
７月28日に稲沢市で開催された第63回愛知県消防操法大会に傍示本分団が出場しました。

5 活動指標

指標名	各種訓練実施回数（基本訓練、操法訓練、水防訓練、文化財防火訓練、林野火災訓練）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	4.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	消防団全体で実施する各種訓練の回数（ただし、分団個別の訓練、啓発活動、会議を除く。）	平成 28 年度	5.00 回	回	
		平成 29 年度	5.00 回	回	
		平成 30 年度	5.00 回	回	

6 成果指標

指標名	基本訓練参加率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成 27 年度	22.99 %	22.86 %	過去３年間の最高値
指標の説明（指標式）	基本訓練に参加した人数÷団長・副団長を含む消防団員数（各年４月１日現在）×100	平成 28 年度	23.17 %	22.99 %	
		平成 29 年度	28.38 %	23.17 %	
		平成 30 年度	25.20 %	28.38 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	27,135,990 円	決算額	23,893,118 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	女性防災クラブ運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	02	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する							
	施策の展開方向：⑵ 消防団員の資質向上							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	女性防災クラブ会員
3 どのような状態にしたいのか(意図)	防災に関する基礎知識を身につけ、自主防災組織と連携し地域や家庭内から防災意識を向上させることで災害時に迅速、適切な対応ができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

女性防災クラブ運営事業
⑴ 東郷町女性防災クラブの組織（平成30年４月１日現在）
　ア 会長 １名、副会長 ２名
　イ 支部会員数 ㈠ 諸輪支部 15名 ㈡ 和合支部 20名 ㈢ 傍示本支部 18名 ㈣ 祐福寺支部 20名
　　㈤ 部田支部 14名 ㈥ 白土支部 15名 ㈦ 和合ケ丘支部 16名 ㈧ 春木台支部 21名
　　㈨ 北山台支部10名 ㈩ 部田山支部 15名 計164名（正副会長含む）
⑵ 会議、研修会等
　ア 正副会長及び正副支部長の役員会を年４回開催し、活動内容の確認、情報交換等を実施しました。
　イ ６月23日に役員研修会を実施しました。（研修先 豊田市防災センター及び尾三消防本部）
⑶ 訓練、講習会等
　ア ５月 普通救命講習 132名参加（受講済者29名：合計受講済者161名）
　イ ５月～６月 消防水利点検（地区及び消防団と合同で実施）
　ウ ６月３日 炊き出し訓練（水防訓練） 23名参加
　エ ９月８日 心肺そ生競技会（尾三消防組合主催） 22名参加
　オ 10月30日 消火競技会（尾三消防組合主催） 12名参加
　カ 11月25日 総合防災訓練 23名参加
　キ １月13日 消防出初観閲式 130名参加
⑷ その他の活動等
　各地区で開催された防災訓練に参加協力しました。
⑸ 女性防災クラブの各支部運営活動費として助成金を交付しました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	防災技術取得事業実施回数	平成 27 年度	1.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	防災技術取得事業（普通救命講習）	平成 28 年度	1.00 回	回	
		平成 29 年度	1.00 回	回	
		平成 30 年度	1.00 回	回	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	普通救命講習受講者率	平成 27 年度	99.38 %	100.00 %	会員全員の参加を目標とした。（２年に１回受講）
指標の説明（指標式）	普通救命講習受講者数人数÷クラブ会員総数×100	平成 28 年度	98.16 %	100.00 %	
		平成 29 年度	99.39 %	100.00 %	
		平成 30 年度	98.17 %	100.00 %	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,198,310 円	決算額	1,206,800 円

款	9	消防費	予算現額	5,817,000 円
項	1	消防費	決算額	4,730,497 円
目	3	消防施設費	前年度決算額	10,272,547 円
			対前年比	46 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	消防水利設置管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ　安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：１　消防や救急体制、地区の防火体制を強化する							
	施策の展開方向：⑶　消防施設の強化							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	被災者
2 働きかける相手(対象)	消防水利
3 どのような状態にしたいのか(意図)	耐震性貯水槽、消火栓を整備、維持管理して消防力を強化します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

１　消防水利設置事業
⑴　防火水槽、消火栓（地下式、地上式）の新設、移設、撤去を実施しました。
⑵　消防水利標識を交換を実施しました。
⑶　格納箱の交換を実施しました。

２　消火栓維持管理事業
⑴　消火栓（464基分）の維持管理負担金を愛知中部水道企業団へ支出しました。
⑵　備品を購入しました。（格納庫１基、ホース30本）
⑶　防火水槽用地の防草工事を行いました。
⑷　防火水槽用地のポール設置工事を行いました。

【参考】
消防水利の状況（平成31年３月末現在）

防火水槽	蓋有	118基（うち耐震性貯水槽　22基）
	蓋無	11基
	プール	10か所
消火栓	65ミリ地下式	271基
	65ミリ地上式	９基
	40ミリ地下式	２基
	40ミリ地上式	182基（格納箱併設　筒先１個・40ミリホース２本・金具１個）
	計	603基（所）

5 活動指標

指標名	消防水利整備基数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標の説明（指標式）	耐震性貯水槽設置数＋防火水槽蓋設置数＋消火栓設置数＋消防水利修繕数	平成 27 年度	1.00 基	基	個別計画による目標値はありません。
		平成 28 年度	0.00 基	基	
		平成 29 年度	3.00 基	基	
		平成 30 年度	0.00 基	基	

6 成果指標

指標名	消防水利の総数（池、河川含まず。）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標の説明（指標式）		平成 27 年度	613.00 基	614.00 基	前年度末設置数
		平成 28 年度	612.00 基	613.00 基	
		平成 29 年度	606.00 基	612.00 基	
		平成 30 年度	603.00 基	606.00 基	

7 直接事業費計	前年度決算額	10,272,547 円	決算額	4,730,497 円

款	9	消防費	予算現額	2,053,000 円
項	1	消防費	決算額	1,261,823 円
目	4	防災啓発費	前年度決算額	1,112,251 円
			対前年比	113.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	防災啓発事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：３ 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：⑵ 防災訓練の実施							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	自主防災組織、町民
3 どのような状態にしたいのか(意図)	各自主防災組織を中心に災害時の緊急対応力を強化するとともに、町民の防災意識を高めます。
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	防災啓発事業 自主防災組織の育成及び防災訓練などの各種活動を支援しました。 ⑴ 自主防災組織の数　17団体 ⑵ 自主防災組織等の活動 各地区及び自主防災組織の17団体において、年１回程度、初期消火、避難、情報伝達などの防災訓練を実施しました。 ⑶ 自主防災組織活動助成金 自主防災組織の活動に対する助成金50,000円を13地区に交付しました。 諸輪、部田、白土、和合ケ丘、白鳥、御岳、押草団地北、押草団地南、春木台、北山台、西白土、部田山、清水 各50,000円 計650,000円 ⑷ 11月25日に東郷町総合防災訓練を高嶺小学校で実施しました。（参加者約350人） ⑸ 防災啓発品として緊急用給水バッグを100個購入し、総合防災訓練にて配布しました。 また、携帯トイレを購入し、地区の防災訓練にて1,020個、町総合防災訓練にて300個配布しました。 ⑹ 家具転倒防止器具取付事業として、65歳以上の高齢者のみの世帯等に対して、家具の転倒を防止するため、金具の取付を行いました。（申請世帯数12世帯） ⑺ ２月７日に地区自治会・自主防災組織に対し、職員と合同で避難所運営ゲーム（HUG)訓練を実施しました。（参加者：地区自治会・自主防災組織24名、職員25名） ⑻ 感震ブレーカー設置費補助事業として、感震ブレーカー（簡易タイプ）を設置する世帯に対し、通電火災を防止するため、購入費用の一部を補助金として交付しました。（申請世帯数17世帯）

5 活動指標			年度	実績値		個別計画、指針等による目標値
	指標名	自主防災組織数	平成 27 年度	地区 16.00	地区	個別計画による目標値はありません。
			平成 28 年度	地区 17.00	地区	
	指標の説明（指標式）		平成 29 年度	地区 17.00	地区	
			平成 30 年度	地区 17.00	地区	

6 成果指標			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
	指標名	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数	平成 27 年度	件 17.00	件 17.00	訓練実施地区を17地区全部とした。
			平成 28 年度	件 17.00	件 17.00	
	指標の説明（指標式）		平成 29 年度	件 17.00	件 17.00	
			平成 30 年度	件 17.00	件 17.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,112,251 円	決算額	1,261,823 円

款	9	消防費	予算現額	29,595,410 円
項	1	消防費	決算額	29,059,911 円
目	5	災害対策費	前年度決算額	26,347,990 円
			対前年比	110.3 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	災害対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基本施策：３ 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：⑶ 災害活動拠点の整備							

Ⅱ．(Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	被災者
2 働きかける相手(対象)	町民、職員、防災資機材
3 どのような状態にしたいのか(意図)	防災計画に基づく職員非常配備体制を整えるとともに、災害時の備蓄品、災害用資機材を充実します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

１　災害対策職員給与関係事業
⑴　７月28日　台風12号の接近に伴い、第２非常配備を執り、事務局及び１個班を招集し警戒に当たりました。
⑵　８月12日　大雨に伴い、事務局が警戒に当たりました。
⑶　８月23日　台風20号の接近に伴い、事務局が警戒に当たりました。
⑷　９月４日　台風21号の接近に伴い、第２非常配備を執り、事務局及び１個班を招集し警戒に当たりました。
⑸　９月30日　台風24号の接近に伴い、第２非常配備を執り、事務局及び２個班を招集し警戒に当たりました。

２　災害対策事業
⑴　災害用備蓄品を購入し、防災倉庫において備蓄しました。
飲料水（２Ｌペットボトル）1,470本、飲料水（500mlペットボトル）216本、ライスクッキー2,352食、アルファ米（わかめ・山菜おこわ・田舎ごはん）計3,700食、粉ミルク（アレルギー対応850ｇ）56缶
⑵　３月20日に東郷町防災会議を開催し、地域防災計画を見直しました。
⑶　指定避難所となる春木台小学校、東郷中学校に防災倉庫を整備し、兵庫小学校を加えた３校に資機材を整備しました。
⑷　避難所28箇所に対し、災害時特設公衆電話（事前設置型）を整備しました。

３　防災無線整備事業
⑴　全国瞬時警報システム（Ｊ－ＡＬＥＲＴ）の保守点検を１月に実施しました。
⑵　新型Ｊ－ＡＬＥＲＴ受信機を整備しました。

４　職員訓練等
⑴　６月４日～８日　メール参集訓練（参加人数　173名）
災害発生時の円滑な参集を目指すことを目的として実施しました。
⑵　２月７日　ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）訓練（参加人数　49名（地区24名、職員25名））
避難所での生活や出来事を模擬体験し、避難所の運営や役割に対する理解を深めるために自治会、自主防災組織と合同で訓練を実施しました。
⑶　１月28日　災害対応訓練（参加人数　51名）
南海トラフ地震等の大規模災害に対応できるよう、職員の参集、災害対策本部の設置・運営、本部員会議開催までの訓練等、職員の初動体制の確認及び課題の抽出を目的として図上訓練を実施しました。

5 活動指標

指標名	災害対策本部設置回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		平成 27 年度	3.00 回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		平成 28 年度	2.00 回	回	
		平成 29 年度	5.00 回	回	
		平成 30 年度	5.00 回	回	

6 成果指標

指標名	備蓄整備計画に基づき町で確保する非常備蓄食糧数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		平成 27 年度	18,650.00 食	18,400.00 食	H27～過去地震最大モデルによる想定避難者数（１日目600人、２、３日目4,300人）×２食
指標の説明（指標式）	各年度末の総備蓄食糧数（昼食・夕食用のアルファ米食数）（高齢者用のお粥、朝食用のクラッカーは含めない。）	平成 28 年度	21,450.00 食	18,400.00 食	
		平成 29 年度	19,650.00 食	18,400.00 食	
		平成 30 年度	19,650.00 食	18,400.00 食	

7 直接事業費計	前年度決算額	26,347,990 円	決算額	29,059,911 円